

Title	『ISO13611:2014 通訳-コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証取得のための言語運用能力を測る言語別適正テスト問題（英一日、露一日、葡一日、中一日、仏一日）の作成：京都外国語大学コミュニティ通訳者育成プログラム実施に向けた取り組み（コミュニティ通訳（6））
Author(s)	林田, 雅至; 佐藤, 晶子; ラムステン, 多夏子 他
Citation	教育メソッド・教育コンテンツ研究報告書. 2024, 2023年度, p. 1-10
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/95444">https://doi.org/10.18910/95444</a>
rights	
Note	

***Osaka University Knowledge Archive : OUKA***

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

教育メソッド・教育コンテンツ研究報告書

『ISO13611:2014 通訳-コミュニティ通訳のためのガイドライン』

認証取得のための言語運用能力を測る言語別適正テスト問題

(英一日、露一日、葡一日、中一日、仏一日)の作成

ー京都外国語大学コミュニティ通訳者育成プログラム

実施に向けた取り組み (コミュニティ通訳 (6)) ー

共同研究者：京都外国語大学 佐藤晶子、ラムスデン多夏子、楊蕾、三好マリア

協力研究者：大阪大学名誉教授 林田雅至

## 要旨

日本社会における多言語・多文化共生の実現に向けて、言語・文化の異なる人々とのコミュニケーションを円滑化する「コミュニティ通訳者」の養成が重要な課題となっている。本研究では、高等教育機関のカリキュラムにおけるコミュニティ通訳者養成システムの構築を目的とし、京都外国語大学で実施された取り組みを報告するものである。具体的には、2023年度に開講された「コミュニティ通訳特論Ⅰ」の授業内容や学生アンケート結果の分析、さらに公衆衛生学、教育学、観光学の分野で実施予定の言語運用能力テストについて詳述する。これらの取り組みを通じて、学生の言語運用能力向上と、実践的なコミュニティ通訳の知識・技能の習得を目指すものである。本研究は、高等教育機関における総合的なコミュニティ通訳者育成プログラムの構築に資する知見を提供するものである。

### 1. はじめに

近年、日本社会では外国人住民の増加に伴い、言語や文化の異なる人々とのコミュニケーションを円滑化する「コミュニティ通訳者」の需要が高まっている。コミュニティ通訳とは、行政、医療、教育などの公的分野において、言語の異なる当事者間を仲介する専門職のことを指す。通訳の専門性に加え、相手の文化背景や状況を理解し、適切に橋渡しを行う能力が求められる。

本研究では、高等教育機関におけるコミュニティ通訳者養成システムの構築を目的とし、京都外国語大学で行われた取り組みについて報告するものである。具体的には、2023年度から開講された「コミュニティ通訳特論Ⅰ」の授業内容と学生アンケート結果の分析、および公衆衛生学、教育学、観光学の分野で計画されている言語運用能力テストについて詳述する。これらの取り組みを通じて、学生の言語運用能力向上と実践的なコミュニティ通訳の知識・技能の習得を目指すものである。

### 2. コミュニティ通訳とは

コミュニティ通訳とは、公共サービスの提供場面において、言語の異なる当事者間のコミュニケーションを仲介する通訳であり、医療、教育、行政、司法などの分野で活用されているものである。『ISO13611:2014 通訳ーコミュニティ通訳のためのガイドライン』では、コミュニティ通訳の定義を以下のように示している。

「公共サービスの利用を目的として、コミュニケーションの場面において、異なる言語の話者間で行われる双方向の通訳」(ISO, 2014, p.2)

コミュニティ通訳と会議通訳の主な相違点は、通訳の方向性と、専門性の違いである。会議通訳は主に一方方向の通訳(B 言語→A 言語)を行うのに対し、コミュニティ通訳は双方向(B

言語⇔A 言語)の通訳が求められる。また、会議通訳は専門性が高いのに対し、コミュニティ通訳は状況に応じた柔軟な対応が必要とされるものである。

ティプトンおよびファーマネックは、コミュニティ通訳が法律、医療、教育などの分野で行われる通訳の一種であり、逐次通訳、同時通訳、エスコート、両面、サイトトランスレーション、ウィスパード通訳などの様々な方法で実施されることを示している (Tipton& Furmanek, 2016, p.4)。また、ラドヴィンおよびトマシーニは、コミュニティ通訳を「ビジネス代表者、観光客、留学生、短期雇用者、在留許可申請者、亡命希望者、文化交流などの多くの状況で使用される対面通訳の一形態であり、国語を話さない外国人と、病院、警察、裁判所、学校、職業訓練センターなどの公的機関の担当者との間で行われる」と説明している (Rudvin & Tomassini, 2011, p.7)。

添付資料の内容を踏まえると、コミュニティ通訳の必要性は、言語の障壁により必要不可欠なサービスへのアクセスが阻まれる移民や外国人住民を支援することにある。コミュニティ通訳者は、サービス提供者と受益者との間の言語的・文化的な隔たりを橋渡しする重要な役割を担っている。前述の「移民」は、国際連合が「移住の理由や法的地位に関係なく、定住国を変更した人々を国際移民とみなす」の定義に従っている (国連経済社会局, 2016)。

### 3. 京都外国語大学におけるコミュニティ通訳者育成プログラム

#### 3.1. 背景と目的

京都外国語大学では、近年の外国人住民の増加に伴い、言語・文化の異なる人々とのコミュニケーションを円滑化するコミュニティ通訳者の養成に取り組んでいる。本学の教育理念である「言語を通して世界の平和に貢献する」ことを実現するために、「コミュニティ通訳特論」の授業を外国語学部アドバンスト科目 (専門科目区分の選択科目) とし 2022 年度秋学期に開設した。2024 年度からは、外国語学部、国際貢献学部全学科所属学生を対象にコミュニティ通訳者育成プログラムを立ち上げた (京都外国語大学, 2024, p.111)。

同大学の学生便覧記載の具体的な目的を要約すると以下の通りである。

1. 言語や文化の異なる人々が公共サービスを安心して利用できるよう、コミュニケーションの橋渡しを行うコミュニティ通訳者を育成する。
2. 本学の教育理念である「人間力」豊かなリーダーの育成、すなわち国際社会の一員としての責任を自覚し、教養豊かな魅力ある人間として力強く生きていく人材を輩出する。

#### 3.2. 「コミュニティ通訳特論 I」の開講

京都外国語大学は、2022 年度秋学期より、外国語学部 3 年生以上の履修を対象としたアドバンスト科目および選択科目である「コミュニティ通訳特論」を開講した。受講生は、本授

業でコミュニティ通訳の概要、各分野での実践、言語運用スキル、異文化理解などを学ぶ。

授業は、環境変動による防災について指導する京都外国語大学共通教育機構教授畑田彩氏、在留外国籍子弟・移民教育問題に詳しい外国語学部ロシア語学科准教授グリゴリー・ミソチコ氏等本学の教員に加え、行政通訳の経験を持つ公益財団法人京都市国際交流協会の職員、医療通訳の専門家である大阪大学医学系研究科招へい准教授、およびりんくう総合医療センター国際診療科部長で医師の南谷かおり氏、保健師資格と実務歴および看護学博士の学位を持つ大阪公立大学安本理抄講師等、実務経験者によるオムニバス形式で行われている。

授業内容は、国際基準や災害対策から、医療、教育、司法など特定の社会問題まで幅広いトピックをカバーしており、学生がコミュニティ通訳者としての役割を果たす上で出会うさまざまなシナリオに備えることを目的としている。また、「コミュニティ通訳者育成プログラム」では実践経験を重視しており、学生は 60 時間の通訳実務または OJT (On-the-Job Training) を受けることが求められる。これは、理論的知識と実践応用のギャップを埋めるために重要な役割を果たすものである。

### 3.3. 学生アンケートの分析

2023 年度秋学期に「コミュニティ通訳特論 I」を受講した 31 名の学生を対象に、授業内容や学生の理解度、今後の進路希望などについてアンケート調査を実施した。その結果、以下のような傾向が明らかとなった。

#### (1) 「コミュニティ通訳」についての知識

授業受講前は約半数の学生が「コミュニティ通訳」について知らなかったが、授業を通して大多数の学生(84%)が、理解が深まったと回答している。具体的には、通訳の実践方法、各分野の特徴、異文化理解の重要性などを学べたと述べている。

#### (2) 授業の評価

ほとんどの学生が授業内容に満足しており、特に実践的なグループワークや他学科学生との交流を高く評価していた。「通訳への理解が深まった」「社会に役立つ知識が得られた」など、肯定的な意見が多数を占めたものである。

#### (3) 将来のキャリア

約半数の学生(48%)が「将来、コミュニティ通訳者として働きたい」と回答しており、コミュニティ通訳への関心の高さがうかがえた。一方で、まだ進路が定まっていないという学生も一定数存在するものであった。

これらの結果から、コミュニティ通訳に関する知識と関心が高まっている一方で、実践的なキャリア形成に課題も残されていることが明らかとなった。

#### 3.4. 言語運用能力測定テスト（適正）の実施

京都外国語大学は、希望する学生が『ISO13611:2014 通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証取得するという目的に基づき、医療・感染症、学校・教育、行政（災害）、行政（税金）の分野で言語運用能力測定テスト（適正テスト）を実施することを計画している。具体的には、以下の取り組みを行うものである。

- (1) 学校教育、医療、行政、司法、観光学の各分野でのコミュニティ通訳に必要な言語運用能力を明確化する。
- (2) 各分野の専門家と連携し、言語運用能力テストの問題を多言語で作成する。
- (3) 受検者の専攻言語に応じて適正テストを実施し、その結果を分析する。
- (4) 分析結果を踏まえ、学生の言語運用力向上に向けた教育プログラムを検討する。

これらの取り組みを通じて、学生の実践的なコミュニティ通訳の知識・技能の習得を目指すものである。

#### 3.5 適正テスト出題内容の変更

2023年度「適正テスト」の出題内容を京都外国語大学における教育内容に応じて変更した。変更後の適正テストは、医療・感染症、学校・教育、行政（災害）、行政（税金）の4分野で構成されている。各分野は、セクションⅠとセクションⅡに分かれており、セクションⅠでは音読された単語や語句の意味を選択肢から選び、セクションⅡでは音読された文章を聞き取り、空欄に適切な語彙を選択肢から選ぶ形式となっている。

セクションⅠでは、各分野に関連する10個の語彙が出題され、受検者はその意味を理解し、適切な訳語を選択する必要がある。セクションⅡでは、各分野の文章が読み上げられ、受検者はその内容を聞き取り、文脈に合わせて適切な語彙を空欄に当てはめる問題が出題される。

これらの問題は、単なる語彙力だけでなく、文脈に応じた語彙の運用能力や、話し言葉の理解力、聴解力など、総合的な言語運用能力を測定するものである。「適正テスト」は、従来の言語検定試験とは異なり、実践的なコミュニティ通訳の場面を想定した内容となっており、言語運用能力の「見える化」を目指すものである。

#### 4. 「適正テスト」を通じた新たな視点（林田雅至 記）

ISO コミュニティ通訳認証の一翼を担う「適正テスト」の本格的な実施も3年目を迎え、特に日英語版の実施に注力し、佐藤が実施する「コミュニティ通訳特論講座」などの受講者を対象に複数回にわたって実施された。初めて実施した Teams による適正テストは、パソコンルームにおける Teams のバージョン、学生によるクリックで一部前ページへの操作可能等、技術的な相性の問題で、PPT オンライン実施に難を抱えたこともあったが、講座終了後に受講者の希望で実施した適正テストにおいて中国語およびポルトガル語の「コミュニティ通訳特論」受講者1名ずつが CEFRB 2 レベル以上の点数を取得し、合格した。2名それぞれが4年生であり、大学院進学、就職を決め、『ISO13611:2014 通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証取得を希望した。

京都外国語大学では2024年度入学生が2028年3月卒業時に『ISO13611:2014 通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン』要件を満たした学生に対し、コミュニティ通訳審査官である林田大阪大学名誉教授、公益財団法人京都市国際交流協会の署名および京都外国語大学学長署名による『ISO13611:2014 通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証書を『ISO13611:2014』認証機関として発行する。前述2名の合格者については、2023年4月11日に京都外国語大学教務部（2024年度より教育支援部）から大阪観光大学山田良治学長への依頼に基づき、大阪観光大学学長、林田雅至大阪大学名誉教授署名による『ISO13611:2014』認証書の授与が2023年3月20日付で行われた。

一方、物心両面で後ろ盾になるタカラベルモント株式会社大阪サンパウロ姉妹都市協会が国際交流事業として毎年実施するポルトガル語スピーチコンテストの昨年第11回(2023年2月19日)優勝者の本多加代子氏が2023年11月14日「適正テスト」ポルトガル語版を受検・合格した。2024年2月11日、第12回ポルトガル語スピーチコンテスト会場で林田から同氏に『ISO13611:2014』認証書授与を行った。過去14人の授与者がいるが、コロナ禍が重なり、実際に対面による手渡しで授与式を挙行了したのは初めてであった。

林田によると、本多氏は、高等教育機関でポルトガル語を学習した経験のない人材ながら、大手火災・生命保険会社の愛知県事務所の所長を務め、主として在住ブラジル人を対象にした損害保険、生命保険加入手続き、説明、対応など8時間/日を日々実践する中で双方向外国語運用能力の習熟度を高め、合格したものである。同氏のブラジルサンパウロでの交流の様子は「Yahoo!ニュース」(YAHOOJAPAN, 2023)、「ブラジル日報」等のメディアでも取り上げられた(ブラジル日報, 2023)。

令和5年度教育メソッド・教育コンテンツ研究第1回勉強会において、林田は「クオリティコントロールとしての「適正テスト」を考える」と題する発表を行った。阪大1年生の「総

合英語」受講生 245 名の「適正テスト」結果から、80 - 89 点(CEFR : B2)が 51 名(≒21%)、70 - 79 点(CEFR : B1)が 92 名(≒38%) で、残りの 102 名(69 点以下, CEFR : A2 以下)が ≒42%に上ることが示された。B2 以上が 2 割を超えるのは良好な結果であるが、母語日本語力の問題が懸念される。

林田 (2022) は、小 4(10 歳)で第一言語形成期を迎え、中 2(14 歳)で第二言語形成期を通して、19 歳以降大学生時代に抽象思考が鍛えられることを示している。諸外国と比較して日本の中高 6 年間のコミュニケーション能力の乏しさが批判され、小 5~6 年生のキッズイングリッシュの拙速な導入に至っているが、これは心身の健全な成長に伴う自然な母語形成を妨げる政策に他ならない。今回の「適正テスト」結果事例は、母語形成期に応じた国語教育の劣化を指摘するものである。

また、林田は「日本における医療通訳の現状報告」と題する発表を行い、国際臨床医学会認定・医療通訳士®人材を対象にした OJT 研修において、両言語運用能力の、特に文章構成力の欠陥が見つかったことを指摘した。これは母語日本語運用能力の欠陥か未成熟な状態にあると見られる。

ラムスデンも、長年にわたる一般翻訳教授歴経験で、受講者の母語日本語運用能力不足を指摘している。何も医療通訳に限ったことではないのである。

「適正テスト」は、所謂当該言語の検定試験ではなく、言語の双方向運用能力をチェックする新機軸のチェック・テストであることが再認識された。そのプロセスは認証審査に必要な書類などの提出であり、最終審査の上正式な認証となる。

2024 年には現在のガイドラインレベル(推奨事項)から、本来の国際規格のレベル(要求事項)になり、それまで、「適正テスト」の実施を進め、認証者も出すように鋭意尽力することが求められる。京都外国語大学コミュニティ通訳特論講座で二人の認証者を出すに至ったのは、その成果の一つである。

京都外国語大学は ISO コミュニティ通訳制度機関校になり、「コミュニティ通訳特論」を開講し、中国語・ポルトガル語で認証授与者を輩出している。また、シンポジウム「コミュニティ通訳」とは？ (オンライン開催)も行われた(京都外国語大学, 2022)。さらに、京都外国語大学はコミュニティ通訳に関する包括協定を公益財団法人京都市国際交流協会と締結している(京都外国語大学, 2023)。

医療通訳者・医師南谷かおり氏が主宰するグループのドキュメントが NHK World :



FRONTRUNNERS という番組(2024.2.28-29)を通じて放送されたが、ISO Healthcare Interpreting(2020)について、元々ISO 日本委員会は、大阪大学医療通訳養成コース(民間)を大阪大学授業カリキュラムに組み込んで、授業料の中で、社会に出る前に認証を取得するように設計したのであるが、様々な理由で未実現になっている。ISO コミュニティ通訳認証制度が社会に出る前に、キャリア・パスとして認証取得させることとしているので、それを鑑にそちらへシフトするように働きかけをしている。

## 5. 考察

本研究の取り組みから明らかになった点は以下の通りである。

第一に、コミュニティ通訳を学ぶ学生の関心と理解が高まっていることが確認できた。授業アンケートからは、「通訳の実践方法」「各分野の特徴」「異文化理解の重要性」など、コミュニティ通訳に関する基本的な知識を修得できたという肯定的な評価が多数得られた。また、およそ半数の学生がコミュニティ通訳者を目指す意向を示しており、将来的なキャリア形成への期待も高いものである。

一方で、コミュニティ通訳の実践経験者は限定的であり、学生の中にはコミュニティ通訳のイメージが明確でない者もいる。このことから、理論と実践の統合的な学びの機会をさらに充実させる必要があると考えられるものである。

第二に、言語運用能力テストの実施によって、学生の通訳実践力を客観的に評価し、教育プログラムの改善につなげていくことが重要である。コミュニティ通訳においては、言語運用力に加え、文化理解力や状況対応力など、多様な能力が求められるものである。学生の現状を把握し、それぞれの課題に応じた指導を行うことで、実践的なコミュニティ通訳の知識・技能の習得を促進できると期待される。

## 6. おわりに

本研究では、高等教育機関におけるコミュニティ通訳者育成プログラムの取り組みについて報告した。京都外国語大学では、「コミュニティ通訳特論I」の開講や学生アンケートの実施、言語運用能力テストの計画など、総合的な教育プログラムの構築に向けた取り組みを行っている。

これらの取り組みを通じて、コミュニティ通訳に対する学生の関心と理解が高まっていることが示された。特に、「適正テスト」の出題内容の改善と、その結果の分析を通じて、学生の言語運用能力の向上と、実践的なコミュニティ通訳の知識・技能の習得を促進することが期待される。

一方で、実践経験の不足や通訳実践力の評価に課題も残されているものである。今後は、理論と実践の融合、および学生の能力に応じた指導の充実を図ることで、社会に貢献できるコミュニティ通訳者の育成を目指したい。

本研究報告は、高等教育機関におけるコミュニティ通訳者育成プログラムの一例を提示したものである。今後、さらなる実践と検証を重ね、効果的なプログラムの構築につなげていきたい。大学におけるコミュニティ通訳者養成の取り組みが、多文化共生社会の実現に寄与することを期待したい。

### 謝辞

本研究は、京都外国語大学国際言語平和研究所の教育メソッド・教育コンテンツ共同研究助成によって行われました。研究所への感謝とともに、中国語適正テストの実施にご協力いただいた中国語学科の大西博子教授、コンソーシアム京都における発表にご協力いただいた英米語学科の河野弘美教授、コミュニティ通訳研究会の設立にご尽力いただいた外国語学部長の舟杉真一教授、国際貢献学部長の藤倉なお子教授、副学長の藤本茂教授をはじめ、本研究にご協力いただいたすべての教職員および大学外部の関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

### 参考文献

ブラジル日報.(2023). 日系社会ニュース：本多加代子さんがブラジル研修＝ポルトガル語コンテスト優勝者. ブラジル日報. 2023/10/07.

(2024年3月15日アクセス <https://www.brasilnippou.com/2023/231007-23colonia.html>)

林田雅至.(2022). 『『適正テスト』の『言語能力カルテ』に関して』 . <https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/87473/>

International Organization for Standardization. (2014). ISO 13611:2014 Interpreting — Guidelines for community interpreting.

Jornal Brasil Nippou. (2023). 《ブラジル》「多様性ある社会のイメージ得た」＝2週間研修した本多加代子さん.YAHOO!JAPAN ニュース. 2023/10/20. (2024年3月15日アクセス <https://news.yahoo.co.jp/articles/d3ae4fb7750c31ddbd1f4317ebb2d757620c56a6>)

国連経済社会局. (2016). 難民と移民の定義. 国際連合広報センター. (2024年3月31日ア

クセス [https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/22174/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/22174/))

京都外国語大学. (2022). シンポジウム「コミュニティ通訳」とは？（オンライン開催）.  
<http://www.kufs.ac.jp/blog/department/english/detail/1960>

京都外国語大学. (2023). コミュニティ通訳に関する包括協定を京都市国際交流協会と締結.  
<https://www.kufs.ac.jp/news/detail.html?id=bXyPJLB8>

Rudvin, M., & Tomassini, E. (2011). *Interpreting in the community and workplace: A practical teaching guide*. Palgrave Macmillan.

Tipton, R., & Furmanek, O. (2016). *Dialogue interpreting: A guide to interpreting in public services and the community*. Routledge.

巻末資料：

1. 「クオリティコントロールとしての「適正テスト」を考える 20230722 最終版」(PDF)
2. 「acabar+ de 直接目的不定詞から考える(20240319)改訂版」(PDF)

上記2資料は、令和5年度科学研究費助成事業・基盤研究(B)（一般）「ポルトガル語の理想的な言語教育シラバスに基いた科学的教育基盤形成」の成果の一端であり、ここに謝辞を示す。

# 科研費基盤B第2回勉強会

：2023年7月22日(土)

10：00-11：30

表題：クオリティコントロールとしての  
「適正テスト」を考える

林田雅至

大阪大学名誉教授

元大阪大学COデザインセンター  
「社会イノベーション部門」教授

[masashihayashida74@gmail.com](mailto:masashihayashida74@gmail.com)

(多言語コミュニケーションデザイナー)

リスボン科学アカデミー(文系部門)所属

[https://conso-kansai.or.jp/mt\\_news/2016/04/2015421.html](https://conso-kansai.or.jp/mt_news/2016/04/2015421.html)

会場：ZOOM：

ミーティングID: 948 7343 1391

パスコード: 245272

本発表は令和5年度科学研究費助成事業・基盤研究(B)(一般)「ポルトガル語の理想的な言語教育シラバスに基いた科学的教育基盤形成」の成果の一端である

# 序論

- 外国語学習は学習言語・文化への適応（同化）・統合するものと歴史的に位置付けられる。現在のGlobal EnglishやGlobal Chineseも同様である。
- 外国語教育・学習を相対化し、媒介語＝学習者母語・文化の重要性を強調し、Contextual Sensitivityに基づく「双方向性運用能力 (interactive competence)」の涵養に力点を置いている。

## 2,000時間を超える外国語学習時間 I

- 従来「双方向外国語運用能力」は所謂「バイリンガル話者」でなければ、無理ではないかと思われてきた。しかし、CEFRによる能力（熟達度）別レベルが設定され、6段階の「中上級」にあたるB2以上になればinteractiveでdeductive（演繹的，応用の効く）なレベルまで達し，Contextual Sensitivity（文脈を汲み取る感性）に拠って，しかるべき訓練を重ねて「双方向外国語運用能力」は担保される。因みに，日本の大学設置審基準の「義務的」学習時間で，予・復習を含む約2,000時間（4年間：日本語を主とする文化事情講義は除く）を超える実践的な「外国語学習」によって，学習者母数の5%ほどが「双方向外国語運用能力」に達するとされる(仮説).



IELTS の バンドスコア	CEFR	能力レベル別に「何ができるか」を示した 熟達度一覧	TOEFL IBT <sup>1</sup>	英検 <sup>2</sup>
8.5 - 9.0	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。	C2レベルは 判定不能	—
8.0 7.0 - 7.5	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。	110 - 120	1 級
6.5 5.5 - 6.0	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、 <b>抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。</b> 母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。	87 - 109	準 1 級
5.0 4.0 - 4.5	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、 <b>標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。</b> その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。	57 - 86	2 級
3.0	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。	40 - 56	準 2 級
2.0	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができる、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。	データ なし	3 級 4 級

注記：以下の注を参照のこと。

上記の表は、IELTS、TOEFL、英検の試験結果が「ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR)」のどのレベルに相当するかについて、IELTS の運営機関 (CESOL, British Council, IDP Australia) と TOEFL の開発者である ETS、公益財団法人 日本英語検定協会 がそれぞれ独自に実施した 3 種類の調査結果をまとめたものです。IELTS のバンドスコアがこの程度なら、TOEFL や英検ではこの点数になるというように、3 つの試験結果を換算するための表ではありませんのでご注意ください。試験のスコアを全般的に理解したり、CEFR との対比で試験スコアの意味を把握したりする際の参考としてください。

<sup>1</sup> 出所： ETS [http://www.ets.org/Media/research/pdf/CEF\\_Mapping\\_Study\\_Interim\\_Report.pdf](http://www.ets.org/Media/research/pdf/CEF_Mapping_Study_Interim_Report.pdf)

<sup>2</sup> 出所： 日本英語検定協会 <http://www.eiken.or.jp/forteachers/data/cefr/>

## Aptis

受験者は「文法・語彙」セクションについては 0～50 点の数字で、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングのそれぞれのスキルについては、受けた試験の点数 (0～50 点) と CEFR のレベル (A1～C) を表したスコアで評価されます。Aptis の結果は CEFR スケール (A1 から C2 の 6 段階) と点数で示されます。

(例：B2-80 点 (IELTS 5.5～6.0 相当))

Reading – 30 min

Listening – 50 min

Writing – 50 min

Speaking – 12 min

Grammar & vocabulary – 25 min

## 2,000時間を超える外国語学習時間Ⅱ

- 下記表において、ロシア旧東欧圏東洋学部日本語科の例を示し、日本の学習時間と比較する意味で、対照させたが、個別に訊いてみると、自習時間はもっとやっていると言われた。ここでは、言語習得の基準参照値として6,750時間としているが、これは具体的に何を意味するかと言えば、関西空港に到着した留学生が、飛行機のタラップを降りたところから、流暢な日本語発話がなされ、書き言葉の漢字知識も相当学習済みであるという状態である。現代日本語・文化事情に関して、半年ほど予備教育を経て、大学院修士課程へ進学するイメージである。因みに、諸外国、特にアジア諸国と比較の上、日本で中高6年間でコミュニケーション能力が乏しいと批判され、一気に成績評価も伴うキッズイングリッシュの拙速な導入に至っている。



# 表まとめ：数量根拠に基づく「外国語学習」を考える

	授業時間	自習時間(大学設置 審基準など)	修了単位要件総学 習時間数	留学による学習4, 800時間加算 (1日16時間言語シャワー×300日)
日本の外国語学部系(4 年間): 1コマ≒2h 上記実態:1コマ=1.5h	900 675(7.5s× 4y×15回)	1, 800 1, 350(授業時間数:2 倍)	2, 700 2, 025	7, 500 6, 825
ロシア旧東欧圏東洋学 部日本語科(5年間)	2,250 (20s×5y× 15回)	4, 500(授業時間数:2 倍)	6, 750(言語習得基 準参照値)	留学なし
欧州CEFR 言語検定試 験(上級) ALTE - <i>The Association of Language Testers of Europe</i> (現在27 言語)	900	1, 800	2, 700	7, 500 CEFR: <i>Common European Framework of Reference for Languages</i> (ヨーロッパ言語共通参照枠)
ドイツへの移民に課さ れる「社会的統合」(言 語学習)CEFR中級	600	1, 200	1, 800	6, 600(みなし留学) IATE: <a href="https://iate.europa.eu/home">https://iate.europa.eu/home</a> (European Union Terminology: 欧州法言語翻訳サイト:26言語)
小学校～大学までの英 語学習	736. 4	1472. 8	2, 209. 2	7, 009. 2
<b>中等教育課程(英語)</b>	<b>628. 4</b>	<b>1, 256. 8</b>	<b>1, 885. 2</b>	<b>6, 685. 2</b>
日本の大学英文科(4年 間)	900 675	1, 800 1, 350	2, 700 2, 025	9, 385. 2(+6, 685. 2) 8, 710. 2(+6, 685. 2)

## 2,000時間を超える外国語学習時間Ⅲ

- ここに示した中等教育課程（英語）の時間数は最も学習時間が費やされる所謂進学校の場合を参考としているが、一般的には、1,500～1,600時間未満である。2,000時間以下であり、数字の上で、所謂自発的な発話行為にまで至るとは考えにくい。母語形成獲得期が11～12歳であり、それまでに、英語教育(初等：324時間)の導入で、二言語学習（習得）を強いるのは、かなりの無理があると思われる。二言語が不十分に習得される（最悪の場合はダブルリミテッド〔二言語制約〕）懸念があることを指摘しておきたい。身近にそうした不幸な実例も知っており、学習時間が取り戻せず、市民生活は送れても、社会経済活動は送れない。急がずとも、18歳からでも外国語学習時間をきちんと担保すれば、必ず身に付くのである。

## 2,000時間を超える外国語学習時間Ⅳ

- 佐藤晶子他研究ノート「高等教育機関による多言語「適正テスト」実施についての考察」(2023)の表-1適正テスト得点の基本統計量(累計)に基づく「図-4合計得点の分布(N=425)」があるが、内数(表に出していない)になる阪大1年生(中高英語学習時間数:1885.2時間)「総合英語」(英作文担当:佐藤晶子:67.5時間+1885.2時間=1952.7時間(c.2千時間)について、3年間6セメ分受講生245名(複数言語専攻コース)の結果は、図-4「ふた山正規分布」の80-89点(CEFR:B2≒優):51名(≒21%), 70-79点(CEFR:B1≒良):92名(≒38%)で、残りの102名(69点以下≒可・不可)≒42%に上り、この最後の数字は看過出来ないヨチヨチ歩きの英語力, 母語日本語力になる.

小森による、英語と日本語の組み合わせによる適正テスト 440 件超の有効であったデータ数 425 件の集計結果は表-1、図-3 で示す通りである。図-3 は、集計結果を可視化し、得点区分における度数分布で表示した。

表-1 適正テスト得点の基本統計量（累計）

項目	合計
平均値	52.35
標準偏差	22.19
中央値	50.76
最小値	2.50
最大値	88.38
データ数	425

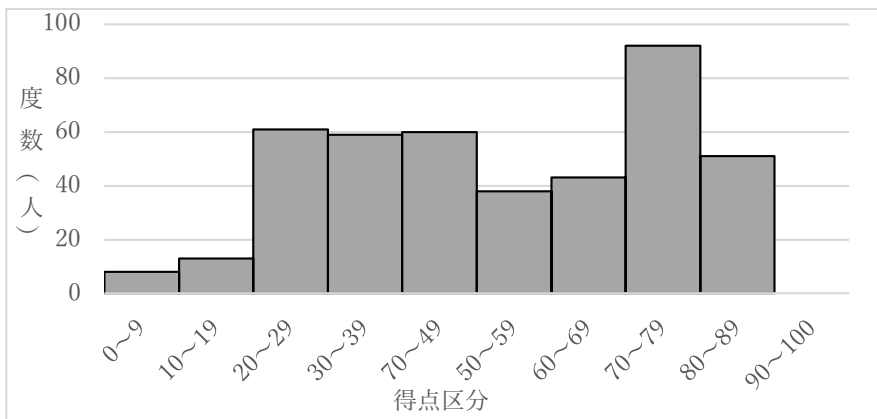


図-4 合計得点の分布 (N=425)

## 2,000時間を超える外国語学習時間V

- 2019年G20(大阪)学内語学選抜で「適正テスト」(日英, 英日版: 総点評価基準はGPAに準拠, 双方向性検証得点差は日英訳得点と英日訳得点の差)を実施したが, バイリンガル受検者でも, AA(左は総点80点以上; 右得点差Aは2.5点以上5.0点未満)になり, SS(総点Sは90点以上, 得点差2.5点未満), SAという「最高ランク」には入らず, 一人は, 留学経験がないにもかかわらず, 通常の中高・英語教育を受けてきたが, そのバイリンガル話者と総点も得点差も遜色なしという結果となり, 一方, この学生と言語学習歴が変わらず, 所謂外国語検定試験は高得点同ランクであるのに, BD(総点Bは70点以上79点以下, 得点差Dは10点以上)評価になった. ただ, こうした結果を見て, 「適正テスト」は, 既成の外国語検定試験で測れない実質的な「言語習得履歴とその運用能力」を知る手立てとして有効な手段であると自信を深めたのである.

## 1. 『ISO13611:2014』 認証授与

大阪観光大学 2021年3月18日 認証機関

『ISO13611:2014 通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン』

2021年5月13日オンライン認証授与式

- ▶ **認証取得者 9名** (中国語-1、ポルトガル語-3、英語-5)
- ▶ (1) 適正テスト 80%以上 (CEFR B2相当)
- ▶ (2) 『ISO13611:2014』 遵守調書
- ▶ (3) コミュニティ通訳資格に基づく実績—証明書提出

審査

### 認証書授与

- ・プライベート認証
- ・大阪観光大学以外では、Institute of Science and Technology Austria (ISTオーストリア：大学院教育を行う国立研究所) が『ISO13611:2014』 認証授与を行っている。

## 2. 「適正テスト」の受検

「適正テスト」PPT提示：問題1から問題4まで(問題選択肢数現行140問：CEFR：B2相当80%以上：112問以上正解必要；所要時間90分，解答時限デジタル時刻揭示)：サンプル：問題セクションI：

ヒアリング資料(受検者には音声のみ提示，テキストは不可視)：3回音読(速度：通常，ゆっくり(単語，フレーズで区切る)，通常)：

An Intergovernmental Panel on Climate Change(IPCC) special report on the impacts of global warming of 1.5 ° C (one point five degrees Celsius) above pre-industrial levels and related global greenhouse gas emission pathways. 各自のノート・テイキングに基づいて，選択肢のa～dから正しいものを選び，解答用紙にアルファベットを記入しなさい。Google form形式で時限内解答提出させ，以降書き換え不可。ヒアリング中は未提示：

《選択肢》

- |    |                      |                     |           |           |
|----|----------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 1: | a Intergovernmental  | b Intergovernment   |           |           |
|    | c Under governmental | d Intergovernmental |           |           |
| 2: | a Clymate Change     | b Climate Charge    |           |           |
|    | c Climate Changes    | d Climate Change    |           |           |
| 3: | a Impact             | b Impacts           | c Empacts | d Impacts |
| 4: | a global warming     | b globe working     |           |           |
|    | c global warmming    | d global heating    |           |           |

(以下省略)

実際は10設問程度



## 2. 「適正テスト」の受検

問題セクションⅡ：

受検者は各自ノートテイキングを参照しながら、下記をGoogle form形式で期限内解答：

下記の1～9までの括弧内に入れる適切な日本語を選択肢のa～dから選択し、解答用紙に記入しなさい。

穴あき文と選択肢は同一画面提示。選択肢が多い場合、常に穴あき文と区切り選択肢を時限に従って自動順次提示  
(例：PPT穴あき文＋第1画面：選択肢1～9，同＋第2画面：選択肢10～18，同＋第3画面：選択肢19～27)

( 1 )に関する政府間パネル (IPCC) の( 2 )は、( 3 )のレベルを( 4 )( 5 )の( 6 )の( 7 )と関連する世界の( 8 )( 9 )に関するものである。

《選択肢》

- |      |        |   |        |   |        |   |        |
|------|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1: a | 気候変動   | b | 天候変化   | c | 天候不順   | d | 天体変革   |
| 2: a | 特段報告書  | b | 特別報道書  | c | 特種報告書  | d | 特別報告書  |
| 3: a | 産業革新前  | b | 工業革命前  | c | 産業革命前  | d | 産業革命後  |
| 4: a | 超える    | b | 越える    | c | 下回る    | d | 上下する   |
| 5: a | 摂氏15度  | b | 接写1.5度 | c | 摂氏1.5度 | d | 華氏1.5度 |
| 6: a | 地球熱帯化  | b | 地表温暖化  | c | 地球温暖化  | d | 地球冷却化  |
| 7: a | 影像     | b | 打撃     | c | 投影     | d | 影響     |
| 8: a | 緑色部屋ガス | b | 温室効果ガス | c | 密室運動ガス | d | 大気保温ガス |
| 9: a | 排出経路   | b | 輩出経路   | c | 肺出経路   | d | 排出道路   |

実際はヒアリングボリュームはもっと多く、従って、日本語穴あき文も多く、選択肢も倍量見込み。  
(担当：林田雅至 ISOコミュニティ通訳認証言語能力審査官)

## 3. 認知心理学の視座より

認知心理学では、人間の心的活動を**情報処理プロセス**として捉える  
情報の入力、貯蔵、操作、検索、照合、出力・・・

### 心的辞書 (mental lexicon)

長期記憶内に保持される言語知識の集合体

単語の形態、音韻、意味、などの属性情報や統語、語用などの文法規則を含む

### 意味ネットワーク (semantic network; Collins & Loftus 1975)

言語を含む知識表象は概念同士が意味的関連性によりリンクし、ネットワーク構造を形成している

ある情報が処理される ⇒ 概念が**活性化**する ⇒ 活性化がネットワークに**拡散**  
⇒他の概念が活性化しスタンバイ状態に cf) プライミング効果

各概念の「名前」は音韻的な関連性によるネットワークを持つ

(Collins & Loftus, 1975, p.407)

### 3. 認知心理学の視座より

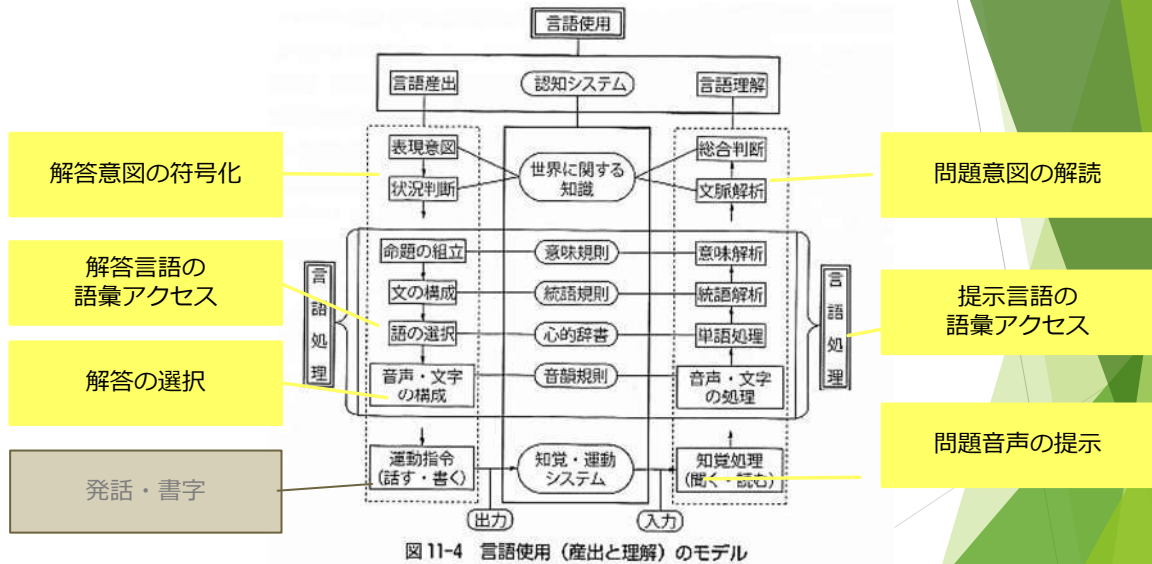


図 11-4 言語使用 (産出と理解) のモデル

(坂本, 2014, p.192)

## 5. まとめ

1. 高等教育機関による多言語の認証授与
  - ・2021年5月13日『ISO13611:2014通訳ーコミュニティ通訳のためのガイドライン』認証授与を行った。
  - ・日本で初めて9名(中国語1名、ポルトガル語3名、英語5名)の通訳者が『ISO13611:2014』の認証を取得した。
  - ・オーストリア工科大学が『ISO13611:2014』認証授与を行っている。
2. 言語運用能力を測る「適正テスト」
  - ・受検についてー「適正テスト」は2言語の双方向運用能力をチェックするためのテストである。
  - 『ISO13611:2014』認証制度を通して、言語学習において双方向運用能力が身に付く良い機会となる。
  - ・認知心理学の視座より  
本テストは、言語理解・言語産出プロセスを反映し、発話の前段階までの言語処理能力を測定するものである。



## Contextual Sensitivity を「見える化」する適正テスト

主催:大阪観光大学  
共催:ISOコミュニティ通訳認証言語能力審査官  
大阪大学名誉教授 林田雅至  
とき:令和4年12月16日(金)20:00~21:30  
ところ:オンライン(ZOOM)

### 言語能力カルテ

#### ISO コミュニティ通訳認証言語チェック・テスト「適正テスト」:採点基準:

総点 100 点(%)として, 90 点以上を S 評価, 80 点以上を A 評価, 70 点以上 B 評価, 60 点以上を C 評価とし, 59 点以下は D「不適格者」とする. また, 以下, 個別の百分率についても, 分野別領域・能力の評価の目安となる.  
また, Contextual Sensitivity のバランスを示す得点差を 0 点から 0.25 点未満を S 評価, 0.25 点から 0.5 点未満を A 評価, 0.5 点から 0.75 点未満を B 評価, 0.75 点から 1.0 点未満までを C 評価.  
1.0 点以上の差のあるものは D「不適格者」とする.

受検番号:            氏名:

総得点: **91.5** 点(評価:CEFR:C1 以上)

問題 1: **気候変動・生態系保全**: ベトナム語ヒアリング: **0.9** 点(90.0%), 日本語訳: **0.94** 点(94.0%)

問題 2: **自然災害・紛争**: 日本語ヒアリング: **1.0** 点(100.0%), ベトナム語訳: **0.86** 点(86.0%)

問題 3: **感染症**: ベトナム語ヒアリング: **0.8** 点(80.0%), 日本語訳: **0.9** 点(90.0%)

問題 4: **観光**: 日本語ヒアリング: **1.0** 点(100.0%), ベトナム語訳: **0.92** 点(92.0%)

#### ヒアリング:

ベトナム語ヒアリング: **1.7** 点(85.0%)

日本語ヒアリング: **2.0** 点(100.0%)

#### 翻訳:

ベトナム語訳: **1.78** 点(89.0%)

日本語訳: **1.84** 点(92.0%)

ベトナム語から日本語へ: **3.54** 点(88.5%)

日本語からベトナム語へ: **3.78** 点(94.5%)

両者の得点差: **0.24** 点(S 評価)

全体評価: **SS**

2022 年 12 月 16 日

ISO コミュニティ通訳認証言語能力審査官  
大阪大学名誉教授 林田雅至 (公印省略)

# 「適正テスト」のすすめⅠ

- 「適正テスト」（日英，英日版）は，京都外語で他言語版も含め，組織的な開発作成が既に始まり，今後「コミュニティ特論」を通じた特論の履修科目受講生などによって，継続され，データ蓄積と「言語能力カルテ」は厳重に保管され，分析も進められる．実施言語は京都外語が抱える外国語のみならず，アジア諸言語にも拡大が見込まれる．京都外語専門学校で学習される「タイ語」「インドネシア語」「ベトナム語」から，ベトナム語版「適正テスト」は2022年度開発作成され，今後実施される見込みである．

## 「適正テスト」のすすめⅡ

- オンライン受検の利点を生かして「適正テスト」ポルトガル語版について，本科研の参加校のみならず対外的にその受検を進め，データ蓄積と「言語能力カルテ」の厳重保管の上，必要であれば，資料を提供することによって，本科研参加研究者の英知を結集した優れた科学的分析を行うことで，参加校独自の授業運営，あるいは本科研で提唱する理想的な教育体制下の授業運営に資するものとなればよいと考える。

# 第10回ストップ結核パートナーシップ関西 ワークショッププログラム

テーマ：低蔓延国であり続けるために市民とともに学ぶ

日時：2023年3月25日(土)

14:00-16:00

発表：日本における医療通訳の現状報告

林田雅至

大阪大学名誉教授

元大阪大学COデザインセンター

「社会イノベーション部門」教授

[masashihayashida74@gmail.com](mailto:masashihayashida74@gmail.com)

ISOコミュニティ通訳認証言語能力審査官

リスボン科学アカデミー(文系部門)所属

[https://conso-kansai.or.jp/mt\\_news/2016/04/2015421.html](https://conso-kansai.or.jp/mt_news/2016/04/2015421.html)

開催方法：事前登録によるweb方式

主催：ストップ結核パートナーシップ関西

本発表は令和5年度科学研究費助成事業・基盤研究(B)(一般)「ポルトガル語の理想的な言語教育シラバスに基いた科学的教育基盤形成」の成果の一端である。

# 序論

- 2020年ISO健康管理通訳要求事項及び推奨事項の規定が出版されたにもかかわらず，2019年度から国際臨床医学会「ICM認定医療通訳士制度」による医療通訳士<sup>®</sup>(民間資格)を導入し，定着化を図っている。
- 参考：一般社団法人日本医療通訳協会主催：医療通訳技能検定協会試験(2014年)を経て，国際臨床医学会「ICM認定医療通訳士制度」のICMの認証試験団体となり，現在に至る。合格登録者に医療通訳士<sup>®</sup>(民間資格)の称号を授与する。
- 一般社団法人日本医療通訳協会：
- <https://www.gi-miaj.org/test>
- 国際臨床医学会(医療通訳認証制度)：
- <http://kokusairinshouigaku.jp/activities/authentication/m-interpreter/auth/auth01.html>



# Migrants and Japanese Society

- 現在，2020 外国人材の受け入れと日本社会：*Migrants and Japanese Society*：医療機関におけるOJT研修システムを確立することで医療通訳の質の向上を図り，外国人患者の安心安全な共生社会を目指すという趣旨の「トヨタ財団助成事業」プロジェクトが稼働しており，上記医療通訳士<sup>®</sup>人材を対象にした**OJT**研修を実施したところ，両言語運用能力の，特に文章構成力の欠陥が見つかる。

# クオリティーコントロール

- ISOコミュニティ通訳認証授与のための言語運用能力をチェックする「適正テスト」が人材の語学能力に対するクオリティーコントロールとしての重要な役割が認知されてきている。平たく言えば、難しい医療専門用語、外国語語彙が十分なほどに知識注入されているにもかかわらず、両言語の文章語に適切にはまらないという実例が出てきている。追って、分析結果が論文化される。
- 参考：2020 外国人材の受け入れと日本社会 **Migrants and Japanese Society**：医療機関におけるOJT研修システムを確立することで医療通訳の質の向上を図り、外国人患者の安心安全な共生社会を目指す(トヨタ財団助成事業)
- <https://toyotafound.my.salesforce-sites.com/psearch/JoseiDetail?name=D20-MG-0028>

# 同時通訳団

- これと同様のことが、既に医療系国際学会で生じていた。高額雇用される同時通訳者の多くが、両言語の文章語が操れない現実に、医療職は概念を理解しているので、その程度の翻訳・通訳であっても、よしとされてきたが、日本脳神経外科国際学会など、高度なレベルが要求され、熱意ある先導者の存在があって、精鋭学会員による「**同時通訳団**」を結成し、毎年同時通訳者の研修養成が実施されている。稀有な例である：
- <http://jnef2022.umin.jp/workshop/index.html>



# ISO 21998:2020[健康管理通訳]

- ISO 21998:2020 specifies requirements and recommendations for healthcare interpreting services in spoken and signed communication :
- <https://ata-tcd.com/iso-219982020-interpreting-services-healthcare-interpreting-requirements-and-recommendations/>

ご清聴ありがとうございました

# Convite

A ACLUS - Associação de Cultura Lusófona (Faculdade de Letras da Universidade de Lisboa) convida-o para a inauguração da:

## Exposição

"Homem, Cosmos e Mitos"  
de Rouslan Botiev

na biblioteca da Faculdade.

Dia 10 de Março às 17h 30m

Amazónia / Amazónias

Conferência Temática, org. ACLUS

Sede: Faculdade de Letras - Cidade Universitária - Lisboa

E-mail: [aclus@fl.ul.pt](mailto:aclus@fl.ul.pt)

Apartado 52118 - Lisboa

P

0256641.2010

R. Botiev

# 科研費基盤B勉強会

：2024年2月24日(土)

10：00-11：30

改訂版：表題：助動詞 acabar + de 直接目的不定詞から  
考える(20240319)

林田雅至

大阪大学名誉教授

元大阪大学COデザインセンター  
「社会イノベーション部門」教授

[masashihayashida74@gmail.com](mailto:masashihayashida74@gmail.com)

(多言語コミュニケーションデザイナー)

リスボン科学アカデミー(文系部門)所属

[https://conso-kansai.or.jp/mt\\_news/2016/04/2015421.html](https://conso-kansai.or.jp/mt_news/2016/04/2015421.html)

会場：ZOOM：

ミーティングID: 982 2399 6577

パスコード: 959530

本発表は令和5年度科学研究費助成事業・基盤研究(B)(一般)「ポルトガル語の理想的な言語教育シラバスに基いた科学的教育基盤形成」の成果の一端である

## 序 論：出発点：読者からの質問 I：

- 「acabar de +不定詞」(『小学館葡語辞書』p.9) の語義1「...することを終える」：学習書では語義2「...したばかりである」だけ紹介されることが多いが、未来を表わす表現，例えば「vou acabar de comer」の場合「食べ終わる」の意は考えられても「食べたばかりである」の意は考えづらい。
- このような具合で語義1「...することを終える」は「状況によって成立する」ものか，あるいは「terminar de +不定詞」\*と同様，一般的に「...することを終える」の意を表現するものなのか。



## 序論：出発点：読者からの質問Ⅱ：

- \*小(2015)：自③ ((terminar de + 不定詞) ... し終わる ▶ terminar de escrever um livro. 本を書き終える。
- 白(1995-2005)：自② [+ de + 不定詞]... し終える, ... したばかりである: Ele terminou de chegar. 彼は着いたばかりだ。
- この構文は, *Priberam*(DPLP:2008-21)に前置詞: de, porを取る助動詞として記載. V. (2006)は助動詞: porのみ, deは無記述. F.F.(1940-2008), A.(1975-2010), 大武(1937), いずれにも記述なし:  
[terminar - Dicionário Online Priberam de Português](#)

## 小学館辞書(2015): Acabar de : 記述まとめ

- 小学館辞書(2015): Acabar de + 不定詞①... することを終える▶ acabar de comer 食べ終わる. ②... したばかりである▶ Eu acabo de chegar justamente agora. 私はちょうど今着いたところです.
- 自動詞①終わる: 3番目の例文: Eu ainda não acabei: 私はまだ終わっていない. この舌足らずな文意不明の文は削除.
- 参考: *Aurélio Infantil Ilustrado por Ziraldo*(1989): 1. Pedro acabou de estudar a lição: ペドロはレッスンを学習し終えた.

## 白水社辞書(1995-2008) : Acabar de : 記述まとめ

- 白水社辞書(1995-2008) : acabar 自動詞 : ①終わる, 尽きる : A aula acabou. 授業は終わった.
- 自動詞②[+de+不定詞] ...したばかりである : Ele acaba de chegar em casa. 彼は家に着いたところだ. 助動詞である acabar de 表現を自動詞とし位置付けたことは致命的な誤り. 別立てで記述すべき.

# Acabar de + 副詞・副詞句 : 記述まとめ

- \*A professora acabou de dar a aula **agora mesmo**.
- A professora acabou de dar a aula **agora há pouco**.
- 女性教師はほんのついさっき、授業を済ませたばかりだった。
- 過去終結相(**agora há pouco mesmo**は大変強調的で冗長な感じ：野中モニカ述)
- A professora acabou de começar a aula **agora mesmo**.
- 女性教師はついさっき、授業を始めたばかりだった。過去終結相
- A professora acaba de dar a aula **agora mesmo**.
- 女性教師は授業を今まさに済ませたところである。現在終結相
- Eu acabei de comer **há pouco**.
- 私は少し前に食べた。完全過去
- Eu acabei de comer **há pouco**.
- 私は少し前に食べたばかりだ。過去終結相
- \*Eu acabo de comer **há pouco**.
- 科研メンバー・野中モニカ氏の助言でまとめ直した(感謝)



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)I

- 小学館辞書(2015)の藍本：*Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)*には，12.aux.aspect. Valor pontual conclusivo, indicando fim ou mudança. (12.相助動詞. 終止あるいは変化を示す終結相)：Acabou de acordar.(目を覚ましたところだった：過去終結相) Acaba de sair.(出かけたところだ：現在終結相)と例文に，過去終結相と現在終結相が順番に挙げてあるが，この順番はやはり意味があって，まず過去終結相があって次に現在終結相となり，実際は発話において圧倒的に過去終結相が多いことを示していると思われる。新聞の見出しでは書き言葉として現在終結相が維持されるが，定量分析で頻度を確認する必要があるだろう。
- 参考(目安)：頻度：Acabou de;9,148 ÷ 25%:
- Acaba de;27,625 ÷ 75%:
- 総頻度数：36,773 NOW Corpus: Portuguese(最終閲覧日:2024年2月23日)

# *Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)II*

- 参考(目安)：頻度：Acabou de;9,148 ÷ 25%:
- Acaba de:27,625 ÷ 75%:
- 総頻度数：36,773
- Acabar deについて，意味の漂白化を問わない
- acabar de:直説法・完全過去形，現在形の頻度：
- eu acabei de:469;acabei de:3,584=4,053 ÷ 76%/5,322
- eu acabo de:62;acabo de:1207 = 1,269 ÷ 24%/5,322
- (tu) acabaste de:97 ÷ 83%/117
- (tu)acabas de:20 ÷ 17%/117
- 
- ele,ela/eles,elas 直説法・完全過去形：10,461 ÷ 26%/39,974
- ele,ela/eles,elas 直説法・現在形：29,513 ÷ 74%/39,974
- [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](http://corpusdoportugues.org) (最終閲覧日:2024年2月23日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)III

- 参考：+不完全過去形(目安)：頻度：Acabou de:9,148  $\doteq$  24%;
- Acabava de :995  $\doteq$  3%:Acaba de:27,625  $\doteq$  73%:
- 総頻度数：37,768：不完全過去が完全過去に対して相対的極少化現象は？
- Acabar deについて、意味の漂白化を問わない
- acabar de:直説法・完全過去・不完全過去形，現在形の頻度について：
- eu acabei de:469;acabei de:3,584=4,053 /5,335  $\doteq$  76%
- eu acabava de:13 /5,335  $\doteq$  0.2%
- eu acabo de:62;acabo de:1207 = 1,269 /5,335  $\doteq$  24%
- (tu) acabaste de:97  $\doteq$  82%/118
- (tu) acabava de:1/118  $\doteq$  0.8%
- (tu)acabas de:20  $\doteq$  17%/118
- 
- ele,ela/eles,elas 直説法・完全過去形：10,461/41,205  $\doteq$  25%
- ela/eles,elas 直説法・不完全過去形：1,231/41,205  $\doteq$  3%
- ele,ela/eles,elas 直説法・現在形：29,513/41,205  $\doteq$  72%
- NOW Corpus: Portuguese (corpusdoportugues.org) (最終閲覧日:2024年2月23日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)IV

- 参考：acabar de chegar(瞬間動詞)：不完全過去形は書き言葉(文語)
- eu/nós:完全過去形：198 + 14 = 212/298 ≒ 71%
- :現在形：51 + 35 = 86/298 ≒ 29%
- tu/você:完全過去形：2 + 5 = 7/11 ≒ 64%
- :現在形：1 + 3 = 4/11 ≒ 36%
- \*eu acabava de; nós acabávamos de chegar:検出されず
- tu acabavas de; vós acabáveis de chegar:検出されず
- você acabava de chegar;vocês acabavam de chegar:検出されず
- ele/ela:完全過去形：483/1637 ≒ 30%
- :現在形：1071/1637 ≒ 65%
- :不完全過去形：83/1637 ≒ 5%
- eles/elas:完全過去形：460/616 ≒ 75%
- :現在形：142/616 ≒ 23%
- :不完全過去形：14/616 ≒ 2%



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)V

- 1.O craque Afonsinho conviveu com Garrincha, no Botafogo, no ano de 1965. **Na época**, ele **acabava** de chegar ao time, enquanto Mané estava deixando o clube. Afonsinho lembrou do sepultamento do amigo e disse que o ocorrido com Garrincha, anos após a sua morte, é deprimente.名選手アフォンシーニョは1965年ボタfogo・クラブでガリンシャと同僚だった。その時期、マネがチームを去る一方、アフォンシーニョはチームに加入したばかりだった。アフォンシーニョは友人の埋葬のことを思い出し、死の数年後ガリンシャに起こったことは屈辱的だったと述べた(2017年6月1日)
  - [Rei Pelé lamenta sumiço dos restos mortais de Garrincha em cemitério da Baixada \(globo.com\)](#)
- 2. Com uma garrafa de suco nas mãos, ele **acabava** de chegar ao parque, onde planejava caminhar nas trilhas ecológicas dentro da mata, na companhia da mulher.ジュース瓶を持って、彼は妻とともに密林で生態学的痕跡を辿る計画をしていた公園に到着したばかりだった(2014年8月23日)
  - [Proposta da década de 80 sobre teleférico no Parque das Mangabeiras volta à pauta - Gerais - Estado de Minas](#)
- 3. **Quando** Bezos e Tuttle **se conheceram**, em 1992, ela **acabava** de chegar ao fundo de investimento D. E. Shaw, onde ele trabalhava.ベソスとタトルは1992年知り合った時、彼女は、彼が働いていたD.E.Show投資会社に入社したばかりだった。\*Tuttle,mulher de Bezos;chegar a~:迂言法動詞(意味の漂白):始める(非相助動詞) (2019年1月14日)[A vida pública de Bezos acaba com sua vida privada | Internacional | EL PAÍS Brasil \(elpais.com\)](#)
- [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](#) (最終閲覧日:2024年3月7日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)VI

- 参考：acabar de conhecer(達成動詞):不完全過去形は書き言葉(文語)
- eu/nós:完全過去形： $40 + 7 = 47/61 \div 77\%$
- :現在形： $6 + 8 = 14/61 \div 23\%$
- tu/você:完全過去形： $2 + 93(93/138 \div 67\%) = 95/140 \div 68\%$
- :現在形： $0 + 45(45/138 \div 33\%) = 45/140 \div 32\%$
- \*eu acabava de; nós acabávamos de conhecer:検出されず
- tu acabavas de; vós acabáveis de conhecer:検出されず
- você acabava de ;vocês acabavam de conhecer:検出されず
  
- ele/ela:完全過去形： $56/105 \div 53\%$
- :現在形： $46/105 \div 44\%$
- :不完全過去形： $3/105 \div 3\%$
- eles/elas:完全過去形： $12/20 \div 60\%$
- :現在形： $8/20 \div 40\%$
- \*不完全過去形：検出されず



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)VII

1. 1. Poe recorda o seu envolvimento em anteriores conflitos quando é apresentada, chegando a confessar-se **admirado** pela figura que **acabava** de conhecer.cf:現在形：acaba deは過去(分詞)：admiradoに時制の一致
  - ポーは紹介されたとき，以前の紛争に巻き込まれたことを思い出し，出会ったばかりの人物に感心しているとさえ告白した：PT(2018年1月4日)：  
[As histórias que queremos depois de Star Wars: Os Últimos Jedi \(ign.com\)](#)
  - 2. **Quando conheci** sua obra, eu tinha 25 anos, **acabava** de conhecer os sarau literários e ainda me ambientava com toda essa novidade.
  - あなたの作品を知ったとき，私は25歳で，文学夜会というものを知ったばかりで，まだ新しいものすべてに順応している段階でした：BR(2018年3月14日)：  
[Coluna | A arte na guerra de ser mulher – Um salve às | Brasil de Fato](#)
  - 3. **Na primeira vez que vi** o logotipo do Movimento Voluntário de Extinção Humana, comecei a pensar que **acabava** de conhecer alguém extremamente irônico que estava zombando dos ecologistas extremistas.
  - 自主的人類絶滅運動のロゴを初めて見たとき，急進的な生態学者を嘲笑する非常に皮肉な人物に出会ったばかりと思い始めた：
  - BR(2015年1月21日)：[Aleteia:vidalena com valor](#);
  - [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](#) (最終閲覧日:2024年3月8日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)VIII

- 参考 : acabar de saber(達成動詞):現在形と完全過去形は拮抗, 前者優位.
- eu:完全過去形 : 94/166  $\doteq$  57%
- :現在形 : 72/166  $\doteq$  43%
- :不完全過去形 : 0/166  $\doteq$  0%
- nós:完全過去形 : 7/31  $\doteq$  23%
- :現在形 : 24/31  $\doteq$  77%
- :不完全過去形 : 0/31  $\doteq$  0%
- eu/nós:完全過去形 : 94 + 7 = 101/197  $\doteq$  51%
- :現在形 : 72 + 24 = 96/197  $\doteq$  49%
- :不完全過去形 : 0/197  $\doteq$  0%
- \*tu/vós/você~:検出されず
- 
- ele/ela:完全過去形 : 10/36  $\doteq$  27.8%
- :現在形 : 20/36  $\doteq$  55.6%( + 不完全過去形: 16.6% = 72.2%)
- :不完全過去形 : 6/36  $\doteq$  16.6% ; 現在形の鏡の存在. 形式過去時制.
- eles/elas:完全過去形 : 4/8  $\doteq$  50%
- :現在形 : 4/8  $\doteq$  50%
- :不完全過去形 : 0/8  $\doteq$  0%

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)IX

- 1. **Quando** Liz **saiu** recentemente do ensino médio, ela **acabava** de saber que foi aprovada em psicologia, na Universidade Federal de Goiás (UFG) pelo Sistema de Seleção Unificada (Sisu).
- リスが最近高等学校を卒業した時、大学選抜システムでゴイアス州立連邦大学の心理学科に合格していることを知ったばかりでした。BR：2016年1月25日：
- Contrários a novo modelo de gestão, estudantes ocupam 27 escolas em Goiás :
- [Contrários a novo modelo de gestão, estudantes ocupam 27 escolas em Goiás | Agência Brasil \(ebc.com.br\)](#)
- 2. **Quando foi** só explodir a notícia, Dilma **acabava** de saber que o impeachment poderia ser anulado.
- そのニュースが流れた時初めて、ディウマは弾劾が無効になるであろうことを知ったのだった。BR：2016年5月10日：外来語：impeachment=impedimento legal
- Batalha de Itararé : [Batalha de Itararé - Estadão \(estadao.com.br\)](#)
- 3. O delegado **ligou** para um amigo para informar o que **acabava** de saber : — já fui contando que estava ocorrendo um incêndio, e inicialmente, tive a informação de que havia 20 mortos, acabando por não incluir a filha que acabou de completar 18 anos.
- 警察署長は友人に電話をして、知ったばかりのことを伝えた。火事が発生しているとすぐに少しづつ語り、当初は死者が20名に上ると情報を受けたが、結局、18歳を迎えたばかりの娘がそこに含まれることはなかった。BR:2013年1月13日：
- "Eu também estou ferido", diz delegado que cuida de caso em Santa Maria :
- ["Eu também estou ferido", diz delegado que cuida de caso em Santa Maria - Nacional - Estado de Minas](#)
- [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](#) (最終閲覧日:2024年3月11日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)X

- 参考：acabar de ganhar(達成動詞):不完全過去は過去における現在
- eu:完全過去形：33/60 $\doteq$ 55%
- :現在形：8/60 $\doteq$ 13%(+ 32%=45%)
- :不完全過去形：19/60 $\doteq$ 32%
- nós:完全過去形：2/17 $\doteq$ 12%
- :現在形：15/17 $\doteq$ 88%
- :不完全過去形：0/17 $\doteq$ 0%
- eu/nós:完全過去形：33+2=35/77 $\doteq$ 45%
- :現在形：8+15=23/77 $\doteq$ 30%(+ 25%=55%)
- :不完全過去形：19/77 $\doteq$ 25%
- tu/você:完全過去形：0+1=1/15 $\doteq$ 7%
- :現在形：0+14=14/15 $\doteq$ 93%
- \*tu acabavas de; vós acabáveis de ganhar:検出されず
- você acabava de ;vocês acabavam de ganhar:検出されず
- 
- ele/ela:完全過去形：205/1400 $\doteq$ 15%
- :現在形：1176/1400 $\doteq$ 84%(+ 1%=85%)
- :不完全過去形：19/1400 $\doteq$ 1%
- eles/elas:完全過去形：14/157 $\doteq$ 9%
- :現在形：140/157 $\doteq$ 89%(+ 2%=91%)
- :不完全過去形：3/157 $\doteq$ 2%：現在の鏡として存在する形式時制



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XI

- 1. O presidente **foi aplaudido** de pé por trabalhadores que **acabavam** de ganhar um bônus como consequência da reforma tributária recém-aprovada no país.
- 大統領は、国内で承認された税制改革の結果としてボーナスを受け取ったばかりの労働者からスタンディングオベーションで拍手喝采を受けた:BR(2018年3月10日):
- No cinturão da ferrugem dos EUA, Cincinnati se reinventa como reduto hipster :
- No cinturão da ferrugem dos EUA, Cincinnati se reinventa como reduto hipster - 11/03/2018 - Mundo - Folha (uol.com.br)
- Cf.Os trabalhadores comentaram— : Nós acabamos de ganhar um bônus. : 現在完結相
- Os trabalhadores **comentaram que acabavam** de ganhar um bônus. : 参照過去(現在)完結相
- 2. A certidão de nascimento nas mãos do empresário Rafael de Freitas Peixoto e da servidora pública federal Andréa Collaço **era** a certeza de que os irmãos biológicos paranaenses Henrique, hoje com 12 anos, e Daniela, de 11, **acabavam** de ganhar um pai e uma mãe. Cf.**Quando** eles **receberam** a certidão de nascimento,Henrique e Daniela **acabavam** de ganhar um pai e uma mãe.: 参照過去(現在)完結相
- ビジネスマン・ラファエル・デ・フレイタス・ペイショトと連邦公務員アンドレア・コラソーが手にした出生証明書は、パラナ出身人工授精児兄弟、現在12歳のエンリケ君と11歳のダニエラ君に父親と母親の存在することを確信させるものであった : BR(2013年8月26日) : Por que só bebês? :
- Por que só bebês? - Revista Encontro (correioweb.com.br)
- NOW Corpus: Portuguese (corpusdoportugues.org) (最終閲覧日:2024年3月9日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XII

- 参考：acabar de completar(達成動詞).現在形の優位性は文語的であることが強調される.
- eu:完全過去形：7/13 $\doteq$ 54%
- :現在形：5/13 $\doteq$ 38%(+ 8% = 46%)：現在の鏡として存在する不完全過去形を加算.
- :不完全過去形：1/13 $\doteq$ 8%
- nós:完全過去形：1/10 = 10%
- :現在形：9/10 = 90%
- eu/nós:完全過去形：7 + 1 = 8/23 $\doteq$ 35%
- :現在形：5 + 9 = 14/23 $\doteq$ 61%(+ 4% = 65%)
- :不完全過去形：1 + 0 = 1/23 $\doteq$ 4%
- você:完全過去形：4/5 $\doteq$ 80%
- :現在形：1/5 $\doteq$ 20%
- vocês:完全過去形：1/12 $\doteq$ 8%
- :現在形：11/12 $\doteq$ 92%
- você/vocês:完全過去形：4 + 1 = 5/17 $\doteq$ 29%
- :現在形：1 + 11 = 12/17 $\doteq$ 71%
- \* nós acabávamos de completar:検出されず; você acabava de; vocês acabavam de completar:検出されず
- ele/ela:完全過去形：146/665 $\doteq$ 22%
- :現在形：513/665 $\doteq$ 77%(+ 1% = 78%)
- :不完全過去形：6/665 $\doteq$ 1%
- Eles/elas:完全過去形：15/27 $\doteq$ 56%
- :現在形：12/27 $\doteq$ 44%
- Ele/eles/ela/elas:完全過去形：146 + 15 = 161/692 $\doteq$ 23%
- :現在形：513 + 12 = 525/692 $\doteq$ 76%(+ 1% = 77%)
- :不完全過去形：6 + 0 = 6/692 $\doteq$ 1%



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XIII

- 1. Eu **acabava** de completar treze anos e a minha educação política ia já bastante avançada.
- 私は13 歳になったばかりで、政治的教育はすでにかかなり進んでいた:PT:2017年9月30日 :
- Descobrir o mundo ou mudá-lo: como a revolução de Che Guevara foi vivida pelo irmão.
- Descobrir o mundo ou mudá-lo: como a revolução de Che Guevara foi vivida pelo irmão – Observador
- 2. Maria da Luz explica que o filho **foi diagnosticado** com autismo, em Portugal, quando **acabava** de completar dois anos. " Comecei a notar que o desenvolvimento do meu filho regrediu, deixou de falar e não entendia os gestos e, quando o pegava ao colo, gritava muito "
- マリア・ダ・ルスは、息子が2歳になったばかりのときにポルトガルで自閉症と診断されたと説明する。「息子の発達が後退していることに気づき始めました。息子は話すことをやめ、ジェスチャーも理解できませんでした。そして、私が息子を抱き上げると、息子は大声で叫びました」 Angola : 2018年4月2日 :
- Angola tem apenas dois hospitais para diagnosticar crianças autistas
- jornaldeangola.sapo.ao/sociedade/angola tem apenas dois hospitais para diagnosticar crianças autistas

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XIII

- 3. Luís Figo é casado com a modelo sueca Helen Svedin desde 2001 e têm em comum três filhas: Daniela, de 18 anos, Martina, de 15, e Stella, de 12. Recentemente, Luís Figo viu-se obrigado a intervir publicamente depois de um jornal mexicano fazer um título sexual sobre a filha Daniela, que **acabava** de completar 18 anos.
  - ルイス・フィーゴは2001年にスウェーデン人モデルヘレン・スヴェディンと結婚しており、娘が3人いる：18歳のダニエラ、15歳のマルティナ、12歳のステラ。最近、メキシコの新聞が18歳になったばかりの娘ダニエラに関する性的な見出しを掲載した報道を受けて、ルイス・フィーゴは公的介入を余儀なくされた。PT：2017年7月1日：
  - Aos 44 anos craque exhibe forma física invejável: [Luís Figo - Luís Figo - Aos 44 anos craque exhibe forma física invejável | VIP.pt](#)
- 4. Lisboa foi sinónimo da maior ruptura nas regras de funcionamento de uma União que **acabava** de completar meio século de existência
  - リスボンは、半世紀の存続を迎えたばかりのEUの運営規則における最大の亀裂の代名詞となった。PT:2017年5月30日：
  - 2007: "Porreiro, pá!" O fim da UE tal como a conhecemos :
  - [2007: Porreiro, pá! O fim da UE tal como a conhecemos - Economia - Jornal de Negócios \(jornaldenegocios.pt\)](#)
- 5. Por isso, Sabrina considerou o segundo lugar uma benção. Janet, que **conquistou** o bronze, estava tão animada que nem mesmo parecia que **acabava** de completar um triathlon.
  - したがって、サブリーナは2位を祝福だと考えた。銅メダルを獲得したジャネットは、トライアスロンを完走したばかりとは思えないほど興奮していた。BR：2013年6月22日：
  - Shonny lidera XTerra Brasil de ponta a ponta e é campeã do triathlon :
  - [Page not found - Webrun | Corrida, saúde, qualidade de vida](#)
  - [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](#) (最終閲覧日:2024年3月14日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XIV

- 参考：acabar de fazer(達成動詞):
- eu:完全過去形：198/232  $\doteq$  85%
- :現在形：33/232  $\doteq$  14%
- :不完全過去形：1/232  $\doteq$  1%
- nós:完全過去形：28/100 = 28%
- :現在形：71/100 = 71%
- :不完全過去形：1/100 = 1%
- eu/nós:完全過去形：198 + 28 = 226/332  $\doteq$  68%
- :現在形：33 + 71 = 104/332  $\doteq$  31%
- :不完全過去形：1 + 1 = 2/332 = 1%
- tu:完全過去形：12/13  $\doteq$  92%
- :現在形：1/13  $\doteq$  8%
- você:完全過去形：25/31  $\doteq$  81%
- :現在形：6/31  $\doteq$  19%
- vocês:現在形：1/1 = 100%
- tu/você/vocês:完全過去形：12 + 25 = 37/45  $\doteq$  82%
- :現在形：1 + 6 + 1 = 8/45  $\doteq$  18%
- \*tu/ você不完全過去形；vós 3時制:検出されず/vocês 2過去時制:検出されず
- ele/ela:完全過去形：479/844  $\doteq$  57%
- :現在形：340/844  $\doteq$  40%
- :不完全過去形：25/844  $\doteq$  3%
- eles/elas:完全過去形：31/57  $\doteq$  54%
- :現在形：22/57  $\doteq$  39%
- :不完全過去形：4/57  $\doteq$  7%

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XV

- 1. **Disse** à jovem que aquilo que eu **acabava** de fazer era um ato reflexo da educação que tinha tido, era, em resumo, uma gentileza e não uma ofensa, muito menos um menosprezo pelas mulheres.
- 私は若い女性に私が今したことは私が受けてきた教育の反映であり、要するに親切心であって攻撃的なものではなく、まして女性を無視したものではないと言った。
- PT: 2018年7月15日: Gentileza machista: [Diário do Minho - Diário do Minho \(diariodominho.pt\)](http://diariodominho.pt)
- 2. Eu **acabo** de fazer uma circular comunicando que suspenderei a tramitação de todas as propostas enquanto vigorar o decreto.
- 私は先ほど通達を出し、この政令が発効している間はすべての提案の処理を一時停止すると発表した。BR: 2018年2月19日: Maia e Eunício acertam votação de pacote de medidas na área de segurança.
- <https://oglobo.globo.com/rio/maia-eunicio-acertam-votacao-de-pacote-de-medidas-na-area-de-seguranca-22411767>
- 3. Pamela Ramsay Taylor, diretora de um projeto de desenvolvimento da cidade de Clay, no estado de West Virginia, escreveu no Facebook "Será refrescante ter uma mulher com classe, bonita e digna na Casa Branca. Estou farta de ver um macaco de saltos altos". A mayor (equivalente à presidente da câmara da cidade) respondeu com baixeza semelhante: "**Acabas** de fazer o meu dia Pam", **escreveu** Beverly Whaling.
- ウェストバージニア州クレイ市の開発プロジェクト責任者パメラ・ラムゼイ・テイラー氏はフェイスブックにこう書いた。ホワイトハウスには上品で美しく、威厳のある女性がいる。ハイヒールを履いた猿を見るのはうんざりだ」市長（ポルトガル行政職首長に相当）も同様の卑劣な返答で、「パム、君のおかげで今日は一日が楽しかったね」とビバリー・ホエーリングは書いている: PT: 2016年11月15日: Michelle Obama alvo de mensagem racista: [Michelle Obama alvo de mensagem racista - Mundo - Correio da Manhã \(cmjornal.pt\)](http://cmjornal.pt)。



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XVI

- 4. **Chama-se** à sugestão que você **acabou** de fazer, perder uma excelente oportunidade de estar calado.沈黙する絶好の機会を逃していることはあなたが今行った提案を必要とする : PT 2019年6月13日 : “Adiar significa derrota, adiar significa ruína”. Boris Johnson lança campanha :
  - "Adiar significa derrota e ruína". Boris Johnson lança campanha (aeiou.pt)
- 5. **Sabe** aquele intervalo de 5 a 15 minutos no máximo que você **faz** no seu estudo? Você **acabou** de fazer um tempo de estudo, certo?
  - 勉強で最も多く行う休憩は5～15分であることをご存じですか? ちょっと勉強しただけですよ? BR : 2019年3月13日 :
  - PASSOS DE GIGANTE 54/365 :
  - PASSOS DE GIGANTE 54/365 (estrategiaconcursos.com.br)
- 6. O senhor me permite...PREFEITO: Você **acabou** de fazer a pergunta? Eu quero saber, se você **acabou** de fazer a sua pergunta? 許可してもらえますか... 市長:今質問したんですか? 知りたいのですが, 質問したばかりですか? BR :2019年4月14日 : Record acusa a Globo de perseguir Crivella, sobrinho de Edir Macedo :
  - Página não encontrada - Boa Informação (boainformacao.com.br)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XVII

- 7. É o momento logo depois de ganhar a última final da Champions, em Cardiff. **Acabávamos** de fazer história. Depois do apito final, **senti** que havia mandado uma mensagem para o mundo.
- カーディフで行われた前回のチャンピオンズリーグ決勝で勝利した直後の瞬間です。我々はまさに歴史を作ったばかりでした。試合終了のホイッスルが鳴った後、世界にメッセージを送ったような気がしました：BR：2017年10月3日：
- Em carta, CR7 destaca ambição pela vitória: “É minha natureza e meu jeito de ser”：
- [Em carta, CR7 destaca ambição pela vitória: "É minha natureza e meu jeito de ser" - VAVEL Brasil](#)
- 8. **Entrevistei** Débora no centro de São Paulo, onde ela **acabava** de fazer, no alto de um carro de som, um dos seus contundentes discursos.
- 私はサンパウロの中心部でデボラさんにインタビューしました。そこで彼女はサウンドカーの上で力強いスピーチを行ったばかりでした：BR:2016年11月17日：
- Débora Silva e as Mães de Maio não têm medo da PM paulista：
- [Débora Silva e as Mães de Maio não têm medo da PM paulista | CLAUDIA \(abril.com.br\)](#)
- [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](#) (最終閲覧日:2024年3月15日)



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XVIII

- 参考：acabar de acordar(瞬間動詞):口語で完全過去形圧倒，文語で優位性も認められる。
- eu:完全過去形：24/25=96%
- :現在形：1/25=4%
- :不完全過去形：0/25=0%
- nós:完全過去形：0/3=0%
- :現在形：3/3=100%
- :不完全過去形：0/3=0%
- eu/nós:完全過去形：24+0=24/28≐86%
- :現在形：1+3=4/28≐14%
- :不完全過去形：0+0=0/28=0%
- você:完全過去形：5/6≐83%
- :現在形：1/6≐17%
- :不完全過去形：0/6=0% \*tu/ vocês::検出されず
- ele/ela:完全過去形：31/43≐72%
- :現在形：10/43≐23%
- :不完全過去形：2/43≐5%
- eles/elas:完全過去形：2/4=50%
- :現在形：1/4=25%
- :不完全過去形：1/4=25%

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XIX

- 1. Por volta das 5h50 da manhã, quando **acabava** de acordar, Janot **recebeu** uma mensagem.朝 5 時 50 分頃, 目が覚めたばかりのジャンットさんにメッセージが届きました :
- BR : 2019年6月5日 : Hacker tentou invadir mais uma vez o celular de Janot :
  - [Hacker tentou invadir mais uma vez o celular de Janot - Jornal O Globo](#)
- 2. Há oito anos, quem **explicitou** os zombies ao protagonista de *The Walking Dead* que, como os espectadores incautos, **acabava** de acordar para o apocalipse, **foi** Morgan. : 8年前, 何も知らない観客と同じように黙示録に目覚めたばかりの『ウォーキング・デッド』の主人公にゾンビについて説明したのは, モーガンだった : PT:2018年4月15日 : Segunda-feira é noite zombie – The Walking Dead e Fear the Walking Dead” cruzam-se pele primeira vez. :
  - [Segunda-feira é noite “zombie” – “The Walking Dead” e “Fear the Walking Dead” cruzam-se pela primeira vez | Televisão | PÚBLICO \(publico.pt\)](#)
- 3. " Copacabana tem um morro; o morro tem uma favela; a favela tem fuzis. **Acabo** de acordar com o som de tiros. É a terceira vez em três dias. ", **postou** outro morador da região. 「コパカバーナには丘がある. 丘には貧民街がある. 貧民街にはライフルがある. 銃声で目が覚めたところだ. 3日間で3回目だ」と, この地域の別の住民が投稿した : BR : 2018年10月23日 : Batalhão de Choque faz operação no Pavão-Pavãozinho e moradores relatam tiroteio.. :
  - [Batalhão de Choque faz operação no Pavão-Pavãozinho e moradores relatam tiroteio \(globo.com\)](#)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XX

- 4. Ocasões **havia**, porém, em que, talvez por rebate de consciência, **acabavam** de acordar para a obrigação e, laboriosamente, com os circunlóquios de quem trata assunto de peso, lá **faziam** o convite.しかし、おそらく良心の呵責からか、彼ら  
がその義務に目覚め、重大な問題を扱っている者に有りがちな遠回しな言い方で、苦心惨憺して招待を行った場合もあった：
  - PT：2016年12月11日：“Rechts Houden”. Assim é a Holanda de Rentes de Carvalho：  
• [“Rechts Houden”. Assim é a Holanda de Rentes de Carvalho – Observador](#)
- 5. Basta olhar para o aparelho que ele será desbloqueado rapidamente, mas isso **pode** ser um problema quando você **acabou** de acordar e **está** com a cara um pouco bagunçada.デバイスを見るだけですぐにロックが解除されますが、起きたばかりで顔が少し汚れている場合は問題になる可能性があります：
  - BR2018年7月13日：Face ID do iPhone X pode não reconhecer usuários que acabaram de acordar:  
• [Face ID do iPhone X pode não reconhecer usuários que acabaram de acordar - TecMundo](#)
  - [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](#) (最終閲覧日:2024年3月15日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXI

- 参考：acabar de sair(瞬間動詞)：口語で1-2人称完全過去優位，文語で3人称現在拮抗
- eu:完全過去形：133/173 $\doteq$ 77%
- :現在形：40/173 $\doteq$ 23%
- nós:完全過去形：19/71 $\doteq$ 27%
- :現在形：50/71 $\doteq$ 70%(+3%=73%)
- :不完全過去形：2/71 $\doteq$ 3%
- eu/nós:完全過去形：133+19=152/244 $\doteq$ 62%
- :現在形：40+50=90/244 $\doteq$ 37%(+1%=38%)
- :不完全過去形：0+2=2/244 $\doteq$ 1%
- tu/você:完全過去形：1+15=16/17 $\doteq$ 94%
- :現在形：1+0=1/17 $\doteq$ 6%
- \*eu acabava de sair:検出されず；tu acabavas de; você acabava de sair：検出されず；vós 3形:検出されず
- ele/ela:完全過去形：395/830 $\doteq$ 48%
- :現在形：368/830 $\doteq$ 44%(+8%=52%)
- :不完全過去形：67/830 $\doteq$ 8%
- eles/elas:完全過去形：94/142 $\doteq$ 66%
- :現在形：38/142 $\doteq$ 27%(+7%=34%)
- :不完全過去形：10/142 $\doteq$ 7%
- ele/ela/eles/elas:完全過去形：395+94=489/972 $\doteq$ 50%
- :現在形：368+38=406/972 $\doteq$ 42%(+8%=50%)
- :不完全過去形：67+10=77/972 $\doteq$ 8%



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXII

- 1. Eu **acabo** de sair do Ministério Público e **descobri** que a delação do Marcos Valério, que aliás, era exatamente para ver o mensalão tucano na época em que Aécio Neves era governador
- 私はちょうど検察庁を出たところで、マルコス・ヴァレリオの告発がまさにアエシオ・ネベス(1960年生；2003-10年ミナス・ジェライス州知事)が知事だった当時のメンサラン・トゥカーノ(政権転覆票買収スキャンダル)を見せられるものであることが分かった。
- BR：2016年8月19日：Delação de Valério contra Aécio voltou para Brasília：
  - [Brasil 247 - O que acontece, por que acontece. 24 horas por dia, sete dias por semana](#)
- 2. Uma gravidez muito bem sucedida, tanto que Deuma **esteve** na Igreja, " até para agradecer o apoio de todos " esta semana " e ninguém **acreditava** que eu **acabo** de sair de um parto. **Foi** tudo tranquilo ", diz ela.
- 妊娠は大成功で、デウマさんは今週「皆さんのサポートに感謝するためにも教会に来ていましたが、私が出産をしたばかりとは誰も信じませんでした。すべてが平穏でした」と彼女は述べる。BR：2014年6月15日：
- 'A Alice é nosso presente de Deus'：



# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXIII

- 3. **Acabaste** de sair da água e não **tiveste** frio?
- あなたは水から上がったばかりで、寒くなかったですか？ :PT:2015年9月29日 : Italo Ferreira: "Mesmo que aches ruim o Pinga vai falar duro na tua cara:
- 4. **Acabávamos** de sair da faculdade e, como Diana, ainda não **tínhamos** desenvolvido nosso estilo.
- 私たちは大学を卒業したばかりで、ダイアナと違って、まだ自分たちのスタイルを確立していませんでした : BR : 2019年6月17日 :
- A estilista por trás do vestido de noiva mais famoso da história :
- [A estilista por trás do vestido de noiva mais famoso da história - BBC News Brasil](#)
- Cf. **Acabamos** de sair da faculdade e, como Diana, ainda não **temos** desenvolvido nosso estilo.
- 5. “Para além disso, **acabávamos** de sair de uma guerra que **durou** 16 anos ”, lembrou Lourenço do Rosário.
- 「それに加えて、我々は16年続いた戦争から抜け出したばかりだった」とロウレンソ・ド・ロザリオ氏は回想した : MZ : 2017年9月14日 :
- Universidade Politécnica: Narciso Matos empossado como novo :
- [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](#) (最終閲覧日:2024年3月17日)

# Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXIV

- 参考：acabar de aumentar(継続動詞):
- eu/nós;tu/vós; você/vocêsという主語を取らず. 検出されず
- ele/ela:完全過去形：16/50 = 32%
- :現在形：34/50 = 68%
- eles/elas:完全過去形：3/6 = 50%
- :現在形：3/6 = 50%；基本的に文語(書き言葉)：現在形が主体
- 1. O presidente Donald Trump criticou numa entrevista coletiva " Infelizmente, eles **acabaram** de aumentar um pouco as taxas de juros porque estamos indo muito bem. Não estou feliz com isso "
- トランプ大統領は共同記者会見で「残念ながら、われわれの業績が非常に好調だったため、金利が少し引き上げられただけだ。私はそれに満足していない」と批判した:BR(2018年9月26日)：Fed eleva taxas de juros do EUA pela terceira vez no ano：
- [Fed eleva taxas de juros do EUA pela terceira vez no ano - 26/09/2018 - UOL Economia](#)
- 2. Os Bombeiros de Barcelinhos **acabaram** de aumentar a frota e possuem agora um novo veículo de intervenção, que resulta da necessidade de fazer face, mais eficazmente, ao combate a incêndios.
- バルセリーニョス消防署は、より効果的に消火する必要性から、車両を増強し、新しい介入車両を導入したばかりであった：PT(2021年5月13日)：
- Bombeiros Voluntários de Barcelinhos recebem carro novo：
- [Bombeiros Voluntários de Barcelinhos recebem carro novo - Correio do Minho](#)

## *Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXV*

- 3. Cláudia Sousa e o namorado, Bernardo Girão, acabam de aumentar a família com a chegada de um novo membro, uma cadelinha.
- クラウディア・ソウザと恋人のベルナルド・ジランに新しいメンバーである小さな犬の到着によって家族が増えたばかりである : PT(2018年11月16日) : Bernardo Girão e Cláudia Sousa acabam de aumentar a família! :
  - [Bernardo Girão e Cláudia Sousa acabam de aumentar a família! \(maria.pt\)](http://maria.pt)
- 4. A Empresa do Grupo e a sua rede acabam de aumentar a garantia de um para dois anos nas peças genuínas montadas nas oficinas, garantindo a máxima durabilidade e fiabilidade no desempenho dos veículos da marca francesa.
- グループ会社企業とそのネットワークは、フランス・ブランドの車両のパフォーマンスにおいて最大限の耐久性と信頼性を保証し、ワークショップで組み立てられた純正部品の保証を1年から2年に延長したばかりである : PT(2018年4月16日) :
- Galius dá dois anos de garantia em peças montadas na Renault :
- [NOW Corpus: Portuguese \(corpusdoportugues.org\)](http://corpusdoportugues.org) (最終閲覧日:2024年3月11日)

## *Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXVI*

- アスペクト(相: aspect)は, 述語が表す事象の完成度や時間軸における分布の様子などの差異化をもたらす文法形式である. 事象について相が表現する内容は, 完結してまとまっているか, それとも未完結で広がっているか, あるいは, 瞬間的か, 継続的か, 断続的か, 反復するのか, やがて終わるのかなどがある. 相は, 多くの言語において時制と組み合わせられた形態(現在進行形, 現在完了形など)で存在するが, アスペクトを表現する相が時制と法(モダリティー)に対して独立している.



## *Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXVII*

- Aos verbos auxiliares aspectuais pertencem os verbos que determinam com mais rigor, o momento do processo verbal, indicando, entre outros, os seguintes valores aspectuais:
- 1. o valor aspectual incoativo que determina o momento inicial de um processo. Estes verbos auxiliares são geralmente chamados verbos incoativos e pertencem a eles os seguintes verbos: **começar a, deitar a, desatar a, entrar a, largar a, meter-se a, passar a, pegar a, pôr-se a, principiar a , romper a(+infinitivo)**, etc.(起動相)
- 2. o valor aspectual frequentativo indica o carácter plural do processo ou do estado de coisas que ocorrem um número significativo de vezes. Muitas vezes são usados, com os verbos frequentativos, os adverbiais frequentativos como muitas vezes, frequentemente, etc... Pertencem a este grupo os seguintes verbos: **costumar, tornar a, voltar a (+infinitivo)**
- ;**continuar, manter-se, permanecer, seguir**, etc.(反復・習慣継続・持續相) 綠色:林田追加



## *Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXVIII*

- 3. o valor aspectual conclusivo e cessativo indica o momento final, que pode ser expresso pelas seguintes \*perífrases: **acabar de, cessar de, deixar de, parar de, terminar de (+ infinitivo)**; (終結相)
- 4. o valor cursivo ou durativo caracteriza os enunciados que estão em curso. Os estados de coisas ou processos em curso podem ser expressos pelas \*perífrases com infinitivo como são: **estar, andar, ficar (+a+infinitivo/+\*gerúndio)**(持續・継続相)
- (SVOBODOVÁ, Iva. *Sintaxe da Língua Portuguesa*, 2014, p. 29-30)
- Associate professor, Department of Romance Languages and Literatures, Masaryk University.
- 参考文献：*Gramática da Língua Portuguesa*, Maria Helena Mira Mateus, Ana Maria Brito, Inês Duarte, Isabel Hub Faria et col., Lisboa, Editorial Caminho – Coleção Universitária / Série LINGUÍSTICA), 1989, 2003.
- *Gramática do Português*, Fundação Calouste Gulbenkian, 2013.

## *Dicionário Verbo Língua Portuguesa(2006)XXIX*

- ところで、小学館辞書(2015)：acabarの執筆者が目下誰か特定できないが、東京外語ポルトガル語が国策移民で1916年に設置された影響が長く続き、彌永史郎先生の世代から武田千香先生(目下「白水社」辞書実質責任者)の世代(もっと後も?)にまで、acabar de~(現在終結相：したばかりである)が教え込まれてきている：
- 友田金三(通称：友金文法)の影：
- 友田金三著『ブラジルポルトガル語 文法・作文』友田出版社，1978：
- CiNii 図書 - ブラジル・ポルトガル語：文法・作文

# 小学館辞書：記述まとめ I

- それはともかく、2010～2014年執筆時期に、藍本 *Dicionário Verbo Língua Portuguesa*(2006) の、12.相助動詞. 終止あるいは変化を示す終結相: *Acabou de acordar. Acaba de sair.* の記述を見た時に、編集委員で真剣に検討を加えるべきでした.
- *acabar de* + 不定詞: ①...することを終える  
▶ *acabar de comer* 食べ終える. ②[助動詞] ...したばかりである ▶ *Eu acabo de chegar justamente agora.* 私はちょうど今着いたところです.

## 小学館辞書：記述まとめⅡ

- 例えば, 英語の *used to* も辞書記述で反復相を表す助動詞とされている. *We used to play in this playground every day.* 英語の *to* も本来は前置詞であるものが, *used to* という形で一体化し, 助動詞に転成(文法化: *semantic bleaching*; *Enfraquecimento semântico* [意味の漂白])している. これは *acabar de* と並行的な現象として捉えることができる.
- 英語の前置詞: *to* は「方向」を示す意味であるが, ポルトガル語の前置詞: *de* は「変化」(起点・終点)を示し, 動作・行為が変化して, 成就・達成する終結相になっている.

## 小学館辞書：記述まとめ(補足：助動詞ter＋過去分詞) I

- 小学館辞書(2015)には他動詞⑮として記述があるが、藍本*Dicionário Verbo Língua Portuguesa*(2006)には、36.aux.aspect. Valor durativo cursivo ou iterativo, indicando estado de coisas em curso ou que se repete.とある。興味深いのは藍本Aurélio(1975-2010)に記述がなく、ただ **haver: 15.助動詞に「過去完了(過去完結相)」**の記述がある一方で、白水社辞書(1995-2008)には、  
◆助動詞[＋過去分詞]①[直説法現在完了. terの直説法現在形＋過去分詞]過去のある時から現在まで反復される動作, 持続する状態を表す. と記述がある. Cf. **現在包括相**



## 小学館辞書：記述まとめ(補足：助動詞ter＋過去分詞)Ⅱ

- 現代英語の文法に関する記念碑的な巨著  
Jespersen, Otto, *A Modern English Grammar on Historical Principles* (全7巻). Allen & Unwin.  
(1909-1949)の4巻(1931:47)に英語の「現在時制の完了相」として「現在完了には, retrospective present(現在回想相)とinclusive presentがある. 前者は, 過去のできごとの結果としての現在であり, 後者は, 過去から現在まで続いている状態としての現在である」としている. これに照らせば, ポルトガル語の複合過去形(旧:現在完了)は「**現在包括相**」とも命名できそうである.
- 目安:[オットー・イエスペルセン - Wikipedia](#)

## 小学館辞書 : 記述まとめ(補足:3相助動詞)Ⅲ

英語:起動相(Inceptive aspect):begin:vt. : begin to + infinitive,  
終止相(Terminative aspect):cease:vi.:cease to + inf./vt.:cease +  
ing,

継続相(Continuative aspect):continue:vt.continue + to inf./ + ing  
(『新英和大辞典』)

参考文献:Curme, G.O,*Syntax*,1931,p.377:

[Syntax : Curme George O. : Free Download, Borrow, and Streaming : Internet Archive](#)

Poutsma, Hendrick, *GRAMMAR OF LATE MODERN ENGLISH, Part II. The Part of Speech, Section II, The Verbs & the Particles*, 891 pp., Groningen, P. Noordhoff, 1926,p.297.

[A grammar of late modern English : Poutsma, Hendrik, 1856-1937 : Free Download, Borrow, and Streaming : Internet Archive](#)

## 小学館辞書：記述まとめ(補足：3相助動詞)Ⅳ

参考：acabar + por + 不定詞/+ジェルンディオ(動名詞)≠現在分詞(動(詞的)形容詞：-nte)

EN: And as my friend said, nothing exciting or remarkable would ever happen to either of them, though they might quite likely travel half over the world.

PB: Como dissera meu amigo, nada de excitante ou excepcional jamais aconteceria com nenhuma delas, embora muito possivelmente pudessem **acabar conhecendo** meio mundo. (**acabar por conhecer**); **conhecendo** ≠ \*conhecente

PE: Como dissera o meu amigo, nada de aventuroso ou extraordinário ocorreria a qualquer delas, embora fosse bastante provável que viajassem por metade do mundo.

ES: Como mi amigo había dicho, nada excitante o extraordinario habría de ocurrirle nunca a ninguna de las dos por mucho que viajaran alrededor de medio mundo. **acabaron conociendo medio mundo** ⇔ **acabaron por conocer medio mundo**

Google: EN to PB: E, como disse meu amigo, nada de emocionante ou notável jamais aconteceria a nenhuma delas, embora provavelmente viajassem meio mundo.

Gg: EN to JP: そして、私の友人が言ったように、彼女らは世界の半分を旅する可能性が非常に高いとしても、彼女らのうち誰にも、刺激的なことや注目に値することは決して起こらないだろう。

# 彌永史郎著『動詞用法辞典』(2018-2021)

- 彌永史郎著『動詞用法辞典』(2018-2021):
- 【主(A) + 動 + de + 不】 (1) Aが～し終える: ▶ Já acabei de almoçar. もう昼食を終えた. (2) [助動詞] Aがちょうど～したところだ: ▶ Uma chamada anónima acabou de pedir informações. 情報を求める匿名の電話がかかったところだった. (過去終結相) ▶ O navio acaba de chegar. 船が着いたところだ. (現在終結相)
- 以上明解な記述になっている: 林田朱色加筆
- 彌永史郎著「辞書学的にみたポルトガル語動詞の分類法」(京都外国語大学『研究論叢』XXXIII,1989),pp.271-289 : [vb\\_bunrui.pdf \(kufs.ac.jp\)](http://vb_bunrui.pdf(kufs.ac.jp))

# 助動詞: 基本情報

- 基本情報:

- 助動詞    **dever**+不定詞    **poder**+不定詞    **ter deP/queB**+不定詞
- 小(2015)    ×    他・助動詞的    他動詞    他動詞(別項目)
- 白(1995-2005) 助    他動詞    他主に助動詞的    自動詞(deのみ)
- **A.(1975-2010)** ×?    自動詞(de)    他動詞    自動詞(deのみ)
- V. (2006)    v.aux.    aux.modal(法)    aux.modal(法)    aux.modal(deのみ)
- **F. F.(1940-2008)** ×??    自動詞(de)    他動詞    他動詞(別項目: deのみ)
- 彌永史郎著
- (2018-2021)
- **?:haver**:15.Como auxiliar, junto ao particípio, forma os tempos compostos para o pretérito: *Havia começado o inverno*(Nélida Piñón, Sala de Armas, p.167):過去完結相
- **??**:haver, andar a~, ir,virなどは助動詞として記述がある.



## 助動詞:大武和三郎(1868-1947)著『葡和新辭典』(1937)

- 用語「助動詞」使用の2か所:大武和三郎著『葡和新辭典』(1937) :  
acabar:deに 次で他の動詞の不定法が来る時は, 其動詞の動作の終結を意味する助動詞となる(例. acabo de chegarは私は今着いたばかりだ);同上:ir,自動詞 往く, 赴く, 行く|(中略)|(助動詞として用ひらるる時)将に...せんとする.
- 「其動詞の動作の終結を意味する助動詞」この表現は何を典拠とされたか, 興味津々である. 上記「12.aux.aspect. Valor pontual conclusivo, indicando fim ou mudança. (12.相助動詞. 終止あるいは変化を示す終結相)」そのものである.
- 仮説としては, 蔵書に相助動詞を記述するイエスペルセン文献や細江逸記(1884-1947)著『動詞時制の研究』泰文堂, 1932などがあって,参照した可能性がある:
  - [大武和三郎\(おおたけ わさぶろう\)とは? 意味や使い方 - コトバンク \(kotobank.jp\)](#)
  - [大武和三郎\(おおたけ・わさぶろう\) \(cenb.org.br\)](#)
  - 目安:[細江逸記 - Wikipedia](#)

# 助動詞に関わる前置詞のまとめI

- 前置詞:a:3.Entra na formação de complexos verbais com valor aspectual
- a) Valor durativo.(持続・継続相) *Está a brincar. Continua a estudar.* b)Valor pontual.(起動相) *Começou a ler.*
- A.(1975-2010) :c)Regendo no verbo infinitivo, entra na construção de formas verbais \*perifrásticas(迂言法動詞形≡助動詞転成) que têm o valor de \*\*gerúndio(動名詞=不定詞):*estar a chorar* (=‘*estar chorando*’); que têm o valor incoativo:*Pegou a falar.Recomeçou a rondar o Luís da Cunha, e pedir-lhe a filha.*; que exprimem fim ou intenção: *Correū a perguntar. Tregar a um dos primeiros lugares. Atrevo-me a falar sobre a política.* V. (2006) :最後の3動詞 : correr a~,tregar a ~, atrever-se a~については助動詞としての記述なし.

## 助動詞に関わる前置詞のまとめⅡ：

### \*perífrases, \*perifrásticas

- **\*perífrases, \*perifrásticas** 〔文法・修辞〕迂言法：一つの文法形態に対して2語以上の語を用いて表わすこと：matizes significativas especiais(Celso Cunha, *Gramática do Português Contemporâneo*, Rio,1980),p.267.
- [Dicionário Online - Dicionário Caldas Aulete - Significado de PERFRASE](#)
- [Dicionário Online - Dicionário Caldas Aulete - Significado de circunlóquio](#)
- [例文：Circunlóquio – Wikipédia, a enciclopédia livre \(wikipedia.org\)](#)
- V. (2006):perífrase:A~pode levar-nos a dizer “amigos do alheio”,em vez de “ladrões”,ou a dizer “a resposta é positiva”em vez de “sim”.
- 小(2015)：perífrase ㊟遠回しな言い方, 婉曲表現；《修辞》迂言法
- 白(1995-2005)：perífrase ㊟《修辞》迂言法；迂言的表現, 回りくどい言い方, 婉曲な表現.
- 大武(1937)：períphrase(perífrase), *f.* 遠回しの語, 婉曲語 || 婉曲な言ひ方.  
Cf. euphemismo(eufemismo),*m.*婉曲法, euphemica-
- mente(eufemicamente),*adv.*婉曲に, 婉曲の云ひ廻しで.
- Joanna Drzazgowska, AS PERÍFRASIS VERBAIS NO PORTUGUÊS EUROPEU, 2011 : <https://www.ejournals.eu/pliki/art/1531/>

# 助動詞に関わる前置詞のまとめⅢ: \*\*Gerúndio

- **Gerúndio** 動名詞/動副(分)詞・動形容(分)詞: 日本語記述のアップデートの必要性
- V. (2006): n.m. Forma nominal do verbo, invariável, terminada em *-ndo* (*cantando, vendo, rindo*). Em certos complexos verbais, o gerúndio pode substituir o infinitivo, mantendo o mesmo valor aspectual (*continuou a ler/continuou lendo*). (+a+不定詞(未来)/+動名詞(過去): 林田加筆
- A. (1975-2010) : O gerúndio pode ter função adverbial (*Passa a vida resmungando*), ou pode ter função adjetiva (*Queimou-se com água fervendo* [= *fervente*]). (動副(分)詞・動形容(分)詞; *fervente*: *particípio presente* (現在分詞: 動(詞的)形容(分)詞): *-nte*; *Ela voltou chorando*: ① 彼女は泣きながら戻った (動副(分)詞: 分詞構文) ② 彼女は再び泣き始めた (≡ *Ela voltou a chorar.*: +a+不定詞(未来)/+動名詞: 動詞的名詞)



# 助動詞に関わる前置詞のまとめⅣ: \*\*Gerúndio

- 小(2015) : gerúndio<sup>♂</sup> 【文法】 ①ジェルンディウム, 動名詞 ②現在分詞. 白(1995-2005) : gerúndio<sup>♂</sup> 《文法》 現在分詞 (p.presente:-nte)
- 大武(1937) : gerundio,m.[文]動詞的名詞(語尾rをndoに變えたもの. Gerundivo,m.[文]ndusに終る羅典動詞の形. 動(詞的)形容詞(準動詞:名詞化したものがgerúndio)
- 参考: ポルトガル語 文法 現在分詞(ジェルンディフ):カード (tufs.ac.jp)
- **提案**: gerúndio<sup>♂</sup> 【文法】 ジェルンディオ ①名詞的機能 = 不定詞: *Continuou a falar/continuou falando* ≠ 動(詞的)形容詞(現在分詞): *\*Continuou falante*. ②副詞的機能: 分詞構文: *Passa a vida resmungando*. ③形容詞的機能 = 動(詞的)形容詞(現在分詞): *Queimou-se com água fervendo* [= *fervente*].



# 助動詞に関わる前置詞のまとめ V : \*\*Gerúndio

- V. (2006): O particípio presente(現在分詞):O que apresenta a terminação -nte e corresponde aos adjetivos(preocupante, temente, seguinte:動(詞的)形容詞) ou substantivos(ouvinte,falante :動(詞的)名詞), ou às preposições como durante,mediante,tirante etc:動(詞的)前置詞), etc.参考:ラテン語:現在分詞:動(詞的)形容詞(動詞由来で動詞及び形容詞の機能を有する)
- Jaciara Ornélia Nogueira de Oliveira : [As formas em -nte no português contemporâneo \(filologia.org.br\)](http://filologia.org.br)
- 武本雅嗣著「ロマンス諸語のconverbについて:フランス語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語の比較・対照分析」(山口大学人文学部『異文化研究』8, 2014), pp. 81-96:[ロマンス諸語のconverbについて:フランス語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語の比較・対照分析 | CiNii Research](#)
- 中岡省治著「中世イスパニア語に於けるGerundioのPerífrasisについての若干の考察」(1980):
- [大阪大学学術情報庫OUKA \(osaka-u.ac.jp\)](http://osaka-u.ac.jp)

## 助動詞に関する前置詞のまとめVI: \*\*Gerúndio

- Brandão (Cláudio) : *O Particípio Presente e o Gerúndio em Português*, Belo Horizonte, 1933. Autor:Cláudio Brandão - Wikisource
- Brandão (Cláudio) : *O Sintaxe Clássica Portuguesa*, Belo Horizonte, 1963.
- <https://archive.org/details/SintaxeClassicaPortuguesaPeloProfessorClaudioBrandaoACompleteStudyOf/page/n141/mode/1up?q=participio+presente>
- As formas nominais do verbo (infinitivo, gerúndio e participípios presente e passado),p.143-44: 上記 : ジェルンディオ②副詞的機能 : 分詞構文
-

## 助動詞に関わる前置詞のまとめⅦ: \*\*Gerúndio

- **Gerundiais**, que em geral se podem mudar em circunstanciais, iniciadas por conjunções subordinativas. O gerúndio é às vêzes precedido de **em**: "... **cessando** (=logo que cessaram, quando cessaram ou depois que cessaram) **ÊSTES VENTOS tornaram as calmarias**" (Castanheda, Hist, da India, 1º, 27, 67) (**circunstancial de tempo**). "...**EM HAVENDO** (= se houver) **OLHOS MAUS, não há obras boas**" (Vieira, Serm., 7º, 101) (**circunstancial de condição**). "**VENDO OS TURCOS** (= porque viram) **O FEITO MAL PARADO/selaram à pressa os cavalos**" (Godinho, Relação, p. 145) (**causa**). "**Em Cristo, SENDO** (= ainda que era) **A MESMA INOCÊNCIA, puseram seus êmulos muitos e gravíssimos crimes**" (Bern., N. Fl., 4º, 389) (**concessão**).

## 助動詞に関わる前置詞のまとめⅧ: \*\*Gerúndio

- **Particípio presente** que tem o valor de **cláusulas adjetivas**:  
“*Na portada se viam dous leões dourados, sustentando(—que sustentavam≠sustentante) as ruelas dos Castros*” (Freire, D. João de Castro(1500-48), 3º,40, 222).  
“*O jesuíta...estava em companhia de Francisco de Sousa, quando lhe foi entregue o despacho contendo (= que continha≠\*continente(abl.do lat.continens) a sua nomeação*” (João Francisco Lisboa, *Vida de Vieira*(1608-97), 157).
- 参考:上記③形容詞的機能＝動(詞的)形容詞(現在分詞)
- [João de Castro – Wikipédia, a enciclopédia livre \(wikipedia.org\)](#)
- João Francisco Lisboa(1812-63) :
- [Obras de João Francisco Lisboa \(senado.leg.br\)](#)

## 助動詞に関わる前置詞のまとめⅨ: \*\*Gerúndio

- O **particípio presente** foi pouco a pouco **suplantado** pelo ablativo do gerúndio latino. in Brandão (1963), p.479 (Capítulo. XXXV O GERÚNDIO).
- A forma verbal em **-ndo representa** etymologicamente o ablativo do gerúndio latino; herdou, porém, em parte, os empregos syntacticos não só do ablat. do gerúndio, senão também, e **principalmente, do participio presente latino**. in Augusto Epiphanyo da Silva Dias, *Syntaxe-Historica-Portuguesa*, 1918, p.247.
- A forma verbal em **-nte**, representante do participio do presente latino, empregava-se, no português arcaico, como **participio do presente** (ou gerúndio: 林田加筆) — até com complemento directo—, na qualidade de atributo: *temente o dia de minha morte...fiz meu testamento; temente a Deus; ao sol levante, ou ao sol poente; rompente o alvor* (*Livro de Linhagens*, 259:13.-14世紀) in *op.cit.*, p.252-253.



## 助動詞に関わる前置詞のまとめ X : \*\*Gerúndio

- O auxiliar *estar* acompanhado do **participio do presente** de um verbo ou do presente infinitivo precedido da preposição *a*, v.g. *Estava estudando*, ou *a estudar*, exprime de um modo preciso que uma a acção está começada mas não acabada. (v..g. = *verbi gratia*, por exemplo)
- O auxiliar *ir* e o auxiliar *vir* acompanhados do **participio do presente** de um verbo, v.g. *A vermelhidão foi avultando*; *vinha amanhecendo*, exprimem a realização gradual de uma acção. In Augusto Epiphonio da Silva Dias, *Grammatica practica da lingua portugueza*, 1870 (considerada a primeira gramática científica do português),p.56 (**3.CONJUGAÇÃO PERIPHRASTICA**)
- participio do presente** (ou gerúndio)  $\cong$  **participio presente latino**
- Cf.A conjugação periphrastica, composta do verbo *estar* com o **participio presente**, ou com o infinitivo presente precedido de *a*. (in Augusto Epiphonio da Silva Dias, *Syntaxe-Historica-Portuguesa*,1918, p.185-86.)

# 助動詞に関する前置詞のまとめ XI: \*\*Gerúndio

- **Perífrases verbais**: Brandão(1963), p.530-539: 意味の漂白化: 迂言法動詞形 ⇨ 助動詞転成
- A esses grupos vocabulares dá-se o nome de perífrases verbais. Nelas um dos verbos **enfraquece ou esvazia o seu sentido, assumindo a função de auxiliar**, e o outro, que, a princípio, era um complemento, perde, pouco a pouco, tal caráter e em si concentra a idéia principal da perífrase, **como estamos (andamos, ficamos, vamos) COLHENDO flores no prado.** (como~以下林田加筆)
- <https://archive.org/details/SintaxeClassicaPortuguesaPelProfessorClaudioBrandaoACompleteStudyOf/page/n527/mode/1up?q=perifrases+verbais>

# 助動詞に関わる前置詞のまとめXII

- 続・前置詞:a:
- 小(2015):2((不定詞を伴って))①《対象》...すること  
▶ *Começar a gostar de alguém.* ⑥《estar a + 不定詞》P...しているところだ▶ *Estou a trabalhar.*
- 白(1995-2005) : ⑫ a + 不定詞1)[進行形を作るなど継続性を表わす. 現在分詞(動名詞?)と同じ働き]*O bebê está a chorar. (=O bebê está chorando.) Viver a pensar. (=Viver pensando.)* 四六時中考えている. 反復・習慣継続相
- 参考:大武(1937):...すべく(不定法の前にある時), なお上記 *trepar:v.i*:昇進する. と記述.
- \**Trepar a subir ao poder. ; Trepar ao poder.*(林田加筆)

# 助動詞に関わる前置詞のまとめXIII

- 前置詞: **de**: 3. Entra na formação de complexos verbais que apresentam diferentes valores
- a) Valor aspectual pontual. (起点・終点) *Acabou de acordar. Deixou de beber.* (終結相)
- 起動相: **A. (1975-2010): de: 4. Pospõe-se a certos verbos, quando seguidos de infinitivo: *Começar de pagar o tributo; Dar de gritar; Principiar de rezar; entrar de falar.***
- 参考: Dar de ~: **F. F. (1940-2008): Relativo — Começar:**
- ***Deram de retirar-se os vizinhos.*** 小(2015), 白(1995-2005), 大武(1937): 記述なし. **De + 不定詞**
- b) Valor modal de obrigatoriedade. (法: 義務) *Tenho de passar aí amanhã.*
- 小(2015), 白(1995-2005): 上記 a) の記述なく, 白(1995-2005) III [文法的機能] に林田提案で補足(次の2ページで引用):

林田の提案(2-a)「提題:前置詞:deの記述を考える」  
日本ポルトガル・ブラジル学会(2023.10.14): X III a

- **De:文法的機能 1** [名詞・代名詞とともに]a)[動詞の間接目的語] ¶  
abusar de álcool 酒を飲みすぎる/depender de drogas 薬物に依存する/aproximar-se da porta 扉に近づく cf. afastar-se de dela 彼女から離れる, 遠ざかる/deixar-se de brincadeira 冗談を慎む/deixar-se de superstição 迷信を止める/conhecer o autor de nome 著者を名前で(作品を通して)知る b)[動作名詞の補語>(\*動詞の直接目的語に相当) ¶  
falas de amor 愛の話/medo da morte 死の恐れ
- **2**[不定詞など伴って]a)[形容詞・副詞の補語] ¶  
contente de saber a sua chegada 彼の到着を知って嬉しい/ Eu sou capaz de (fazer) tudo. 私はすべてができる/ Dois problemas são fáceis de resolver. 二つの問題は解決が容易い/O português é difícil de dominar. ポルトガル語は習得が難しい/Os Jogos Olímpicos são impossíveis de realizar com a epidemia do coronavírus. オリンピックはコロナ禍の開催は不可能である/independentemente de...と無関係に;
- cf. 前置詞de文法的機能(『ロワイヤル仏和中辞典』1985-93, 旺文社)



## 林田の提案(2-b):XIIIb

- b)[意味上の主語] ¶ É capaz de chover hoje. 今日雨がふるかもしれない/Deve de chover amanhã.明日雨が降るに違いない/Deve de ser que ele venha hoje.彼は今日来るに違いない/ É de supor que as formas diale(c)tais do latim vulgar tenham influenciado o surto do galego-português.口語ラテン語の方言的形態がガリシア・ポルトガル語の出現に影響を及ぼしたと想像される
- c)[直接目的語] ¶ **acabar de** : 終了する **acabar de comer** 食べ終わる / **mudar de (casa, roupa, ideia, vida etc)** 引っ越しする, 着替える, 考えを改める, 生活を一新するなど cf.**mudar-se** 引っ越しする, 変化する d)[助動詞]¶ ...したばかりである **acabar de comer** 食べたばかりである / **acabar de chegar** 到着したところである / やめる **deixar de fumar** 禁煙する / **O computador deixou de funcionar.** コンピュータが動かなくなった
- e)[名詞の補語 : 内容の説明] ¶ máquina de (lavar roupa, lavar louça, costura, café, escrever, calcular etc) 洗濯機, 食洗器, ミシン, コーヒーメーカー, タイプライター, 計算機; cf. **processador de texto**

## 助動詞に関わる前置詞のまとめXIV

- De:文法的機能：2[不定詞など伴って] c)[直接目的語] ¶ **acabar de**：終了する **acabar de comer** 食べ終える / **mudar de** (casa, roupa, ideia, vida etc) 引っ越しする, 着替える, 考えを改める, 生活を一新するなど cf. **mudar-se** 引っ越しする, 変化する
- d)[助動詞] ¶ ...したばかりである **acabar de comer** 食べたばかりである / **acabar de chegar** 到着したところである / やめる **deixar de fumar** 禁煙する / **O computador deixou de funcionar.** コンピュータが動かなくなった

## 助動詞に関わる前置詞のまとめXV

- 前置詞: **por**: 3.Entra na formação de complexos verbais que apresentam diferentes valores
- a) Valor aspectual pontual inceptivo ou conclusivo. (起動・終結相: 動作の起点・終点) *Começou por cumprimentar os presentes. Acabei por comer tudo.*
- 小(2015), 白(1995-2005): 上記前置詞の記述なし. Cf. *acabar por, terminar por*: ad hocに熟語として記述. 熟語学習は文構造・解析理解を妨げ, 発話・作文能力の阻害要因と考えられる.

## 助動詞に関わる前置詞のまとめXVI

- b) Valor aspectual pontual durativo permansivo, indicando acção não começada ou inacabada. (未始動・未完了継続相) *A cama ainda está por fazer. Ainda hoje as capelas continuam por acabar.*
- 小(2015), 白(1995-2005) : 上記の前置詞の意味の記述がある. 小(2015) : ⑱ ((estar[ficar]por + 不定詞)) まだ...していない ▶ *Minha sala está ainda por limpar.* 私の部屋はまだ掃除されていない./ *A limpeza ficou por terminar.* 掃除は終わらないままになった. 白(1995-2005) : ⑰ [estar·ficar~ + 不定詞] まだ...していない : *A sala está por limpar.* 部屋はまだ掃除していない. 両者動詞熟語記述もあり.



# 助動詞＋前置詞のまとめI

- **Estar, ficar, andar (+a+infinitivo/+\*gerúndio)** : 進行相, 起動相, 未完了相, 継続・反復持続相など:
- **助動詞: estar**: 18.aux.aspect. Valor durativo cursivo, indicando decurso de acção, processo, etc. *Estar a estudar. Estar a chover.*
- **参考: F. F.(1940-2008): Predicativo || Permanecer: À resposta do velho, o califa Almansor ESTÊVE a meditar.**
- **Estar a+infinitivo = gerúndioの記述なし?**
- **Relativo: || —unido ao gerúndio de outro verbo, serve de exprimir uma acção que se prolonga durante algum tempo: Estou fazendo um drama em cinco atos. "Está vivendo dificilmente; Estou escrevendo."** (T.Brandão, *Sintaxe*, 183); Thomaz da Silva Brandão, *Syntaxe e construção da Lingua Portuguesa*, 1888.



## 助動詞＋前置詞のまとめII

- ～ **para** Indica a proximidade temporal ou intenção de fazer algo. *O patrão está para chegar. Estava mesmo para te telefonar.*
- ～ **por** Sugere acção não executada. *A cama ainda estava por fazer e a loiça por fazer.*
- F. F.(1940-2008): **estar para**を Relativo として記述.
- 関連 : F. F.(1940-2008) : Relativo : —Seguindo-se ao verbo FICAR um infinitivo regido da preposição *por*, denota que se não praticou a acção expressa por êsse infinitivo: *O serviço FICOU por fazer.*

## 助動詞＋前置詞のまとめⅢ

- 助動詞:**ficar**: 29.aux.aspect. Valor durativo, indicando extensão de acção, processo, etc. *Ficar a estudar. Ficar a dormir.*(継続・持続相)
- a) A perífrase **ficar** + **gerúndio** ou **a** + **infinitivo** serve de exprimir a diuturnidade contínua de um fato ou de um estado ou a sua iteração prolongada: "FICARÁ / *imitando seu pai na valentia*" (Lus., III, 85). "Até amanhã FICARIA eu A PALESTRAR." (Castilho, D. Quixote, 1º, 169) . "*Quando ele vai à fazenda, FICA só PASSEANDO ou A PASSEAR a cavalo*" (**sentido iterativo ou frequentativo**).in Brandão (1963),p.536.

## 助動詞＋前置詞のまとめIV

- 継続・反復持続相：
- 助動詞：**andar**:18.aux.aspect. Valor durativo cursivo, indicando estado ou condição prolongada. *Andar a estudar. Ela ainda anda a procurar casa ?*
- F. F.(1940-2008)：— Como verbo auxiliar, imprime idéia de continuidade ao verbo a que se ajunta:**ANDA a fazer um livro. ANDA a pintar um quadro.**
- 19.aux.aspect. Valor durativo frequentativo, indicando ocorrência mais ou menos frequente. *Andas a fumar muito. Parece que anda a chover menos ?*

## 助動詞＋前置詞のまとめV

- II . Andar com o **gerúndio** ou com a preposição **a** seguida de infinitivo indica ação iniciada, mas com idéia acessória de duração prolongada ou de repetição : “...*longa ssazon auya que o ANDAUAM BUSCADO.*” (Nunes, Crest. Arcaica, p. 101) . “... *louvando todos a Deus polos ter guiado a lugar que tanto havia ANDAUAM BUSCADO.*” (Damião.de Góis, Cron. de D. Manuel, e. 38, p. 115) . “*O peregrino sempre ANDA MUDANDO de lugar em lugar e nunca melhora, porque se leva a si consigo.*” (Vieira, Serm., 6º, 153). in Brandão (1963),p.536.
- 20.aux.moda.Valor de intenção, expectativa, ocorrência futura. *Há tempo que ando para te contar a novidade. Anda para ter bebê. Isso já andava para acontecer.* (法:意図, 期待, 未来)

# 助動詞＋前置詞のまとめVI

- **Continuar, manter-se, permanecer, seguir** : 持続・継続相:
- 助動詞 : **continuar**: 7.aux.aspect. Valor durativo permansivo, indicando continuação de acção ou processo, **MANTER-SE**. *Vou continuar a procurar emprego. Noite alta e ele continua escrevendo. Ainda continua a nevar ?* (+a+不定詞/+動名詞)
- **F. F.(1940-2008): Transitivo(他動詞)として記述.**
- 助動詞 : **manter-se** : 12.aux.aspect. Exprime valor durativo permansivo, indicando continuidade, **CONTINUAR, PERMANECER**. *No concurso, os pares mantêm-se a dançar há mais de um dia.*



# 助動詞＋前置詞のまとめVII

- 続・持続・継続相:
- 助動詞: **permanecer**: 9. aux.aspect. Valor durativo permansivo, exprimindo continuidade de processo ou acção, **CONTINUAR**. *É tarde, mas eles permanecem a trabalhar. A multidão permanecia dando vivas, manifestando a sua alegria.*
- 助動詞: **seguir**: 21. aux.aspect. Valor durativo permansivo, indicando continuação de ação ou processo. *Entrei, mas ele seguiu lendo o jornal. \*Ele seguiu a ler o jornal.*(林田加筆)
- **F. F.(1940-2008)&A.(1975-2010)**:記述なし.
- 参考:白(1995-2005):他⑦続けて行なう:*Seguir a leitura*. 読書を続ける. 大武(1937):*v.t.*を続行する:例文なし. 小(2015):記述なし.

# 助動詞＋前置詞のまとめVIII

- **Costumar, tornar a, voltar a (+infinitivo)** : 反復・習慣継続相:
- 助動詞:**costumar**:3.aux.aspect. Valor durativo habitual, indicando o que se tem por hábito, costume, regra. *Costumo almoçar à uma da tarde. O autocarro costuma vir a horas ? Estas laranjas costumam ser doces.*
- **F. F.(1940-2008):v.t:Ter por costume:Sempre costumei escrever assim.**
- **A.(1975-2010):v.t.d1.Ter por costume;ter o hábito de;usar:Costuma passar fora os meses de verão.**
- 小(2015):他①((costumar＋不定詞))...する習慣がある, いつも...する, ...する癖がある▶*Os alunos costumam sentar-se nas últimas filas.*
- 白(1995-2005):他①[＋不定詞]習慣を持つ, いつも...する:
- *Eu costumava ler até tarde da noite.*
- 大武(1937):v.t.習慣上行ふ || 慣らす || v.i e v.pr.に慣れる, を習ひとする, を常とする. 例文なし.

# 助動詞＋前置詞のまとめIX

- 反復・持続相:
- 助動詞： **tornar**:12.aux.aspect. Exprime valor durativo **frequentativo**. *O menino tornou a constipar-se. Não tornes a dizer isso !*
- F. F.(1940-2008):—Unido a um infinitivo com a preposição *a*, indica a continuação ou repetição do ato expresso por êsse infinitivo:*Riu-se meu pai, e depois de rir, TORNOU a falar a sério.* A.(1975-2010):記述なし
- 小(2015): 自 ②((**tornar a**＋不定詞))再び...し始める▶*Tornou a chover.* 再び雨が降り始めた。
- 白(1995-2005): 自 ②[＋**a**＋不定詞]再び...する:*Tornou a nevar.* 再び雪が降り始めた。
- 大武(1937): || (**助動詞**として前置詞**a**を伴ふ時)繰返す, 反復する. 例文なし。

# 助動詞＋前置詞のまとめX

- 続・反復・持続相:
- 助動詞: **voltar**: 18.aux.aspect. Valor pontual, indicando repetição. *Voltar a chover. Voltar a fumar.*
- F. F.(1940-2008): Relativo: Tornar, recomeçar: *Voltar a beber.*
- A.(1975-2010): v.t.i.5. Tornar, recomeçar: *Depois de 11 anos livre do vício, voltou a fumar.\*voltou fumando.*(林田加筆)
- 小(2015): 自 ④((voltar a + 不定詞))再び...し始める▶*voltar a chorar.\*voltar chorando.*(林田加筆)
- 白(1995-2005): 自 ④[+a + 名詞・不定詞]再び...する, 再び始める: *voltar a falar. Voltar ao trabalho.*
- 大武(1937): v.t. 再び来る, 再び行く, 再び現はれる || 反復する, 繰返す. 例文なし.

# 助動詞＋前置詞のまとめXI

- こぼれ話:動詞:saltar:220;L.saltare:大いに[激しく]踊る
- 形容詞:frequentativo:V(2006):Diz-se do aspecto durativo que exprime repetição da acção. Saltar tem valor aspectual durativo frequentativo. (反復持続相);間接他動詞(v.t.com prep.)
- F. F.(1940-2008):v.i.Dar pequenos e repetidos saltos. ||  
v.t.com prep:Saltar de religião para política.
- A.(1975-2010): v.i.1.Dar saltinhos frequentes.2.Mostrar-se inconstante.v.t.com prep.Divagar de um para outro assunto.  
小(2015):自ぴょんぴょん跳ぶ, 跳ね回る. 例文なし.
- 白(1995-2005):自①[小鳥のように]ピョンピョン跳ぶ, はねる  
②落ち着きを欠く;絶えず話題を変える. 例文なし.
- 大武(1937):v.t.小跳びする, ひょいひょい跳ぶ || 突然話題を  
轉ずる || 落ち着いてゐない. 例文なし.



## 助動詞＋前置詞のまとめXII

- Começar a, deitar a, desatar a, entrar a, largar a, meter-se a,
- passar a, pegar a, pôr-se a, principiar a , romper a
- (+infinitivo) : 起動相:
- 助動詞 : **começar**:6.aux.aspect. Valor aspectual pontual inceptivo, indicando começo de acção ou processo, **DESATAR**. *Começar a correr. Começar a rir. Começar a chover.*参考小(2015):前置詞:a:2((不定詞を伴って))①《対象》)...すること▶*Começar a gostar de alguém.*
- 7. aux.aspect. Valor aspectual pontual inceptivo, indicando prioridade numa sequência. *Comece por bater os ovos com o açúcar e depois misture o leite.*
- A.(1975-2010):v.i:*Começou por me dizer que o seu caso era simples.O orador começou por dirigir uma saudação à cidade que o acolhera.*

# 助動詞＋前置詞のまとめXIII

- 続:起動相:助動詞:começar:
- 大武(1937):v.t.始める(aを加用す但し助動詞に用ひられ他の不定詞の動詞に先立って置かれた時はde又はporを加用す):例文なし.
- F. F.(1940-2008):v.t:*A dor COMEÇAVA a causar-me uma espécie de prazer. COMEÇARAM de subir pela rua do Carmo. Relativo:COMEÇOU racionalmente por averiguar a mecânica da linguagem. Este COMEÇA por onde os outros acabam.*
- 起動相:助動詞:começar + a~: ~を始める, ~になる; principiarも同様.
- começar + de~: (選択的に)~から行う.
- começar + por~: まず~を行う.
- 段階的に意味の漂白化(Enfraquecimento semântico)が進む.

•

## 助動詞＋前置詞のまとめXIV

- 起動相:
- 助動詞：deitar : 14.aux.aspect.Valor pontual inceptivo, indicando começo, início. *Deitar a correr.*
- F. F.(1940-2008)& A.(1975-2010): 記述なし.
- 小(2015):記述なし,白(1995-2005):◆自③[+a+不定詞]...し始める:*Deitar a correr.*駆け出す.
- 大武(1937):(助動詞として前置詞aを伴なひ不定法の續いて來た場合)...し始める:*Deitar a correr.*

# 助動詞＋前置詞のまとめXV

- 起動相:
- 助動詞: **desatar** : 5.aux.aspect.Valor pontual inceptivo, indicando início. *Desatar a chorar. Desatar a rir.*
- F. F.(1940-2008):Relativo:—Prorromper;começar de repente:*Atrepou a um coqueiro, e com voz sonora DESATOU a pregar.* 彼はヤシの木に登り, 大声で突然説教を始めた.
- A.(1975-2010):T.i.8.Começar de repente: prorromper:
- *Desataram a morder-lhe nas pernas.*
- 小(2015),白(1995-2005):自((desatar＋a＋不定詞))突然...し始める.
- 大武(1937):v.i.突然ものする, ...しだす, ...し始める:  
*Desatar a fugir.*

# 助動詞＋前置詞のまとめXVI

- 起動相:助動詞: **entrar**: V. (2006):aux.aspect.として記述なし?
- F. F.(1940-2008):Relativo:Começar: *Entrei a sacar sobre a herança de meu pai. Entrou a chorar.*
- *Entraram de mascar o seu idioma.*
- A.(1975-2010):T.i.16.Começar,principiar,pegar: *Desapontada, a menina entrou a chorar.*
- 白(1995-2005):◇自⑤[+a+不定詞]...し始める: *Entrou a estudar.* 彼は勉強を始めた。
- 大武(1937):v.i.(aを加用して)を開始する. 例文なし.
- 余談(笑えぬ誤記述):小(2015):entrar自③を始める▶ *O ano novo começou com muito frio.* 新年はひどい寒さで始まった. *Entrar a~* 無記述. 参考: *O ano novo entrou com muito frio.*
- \**O ano novo entrou a muito frio.* 野中モニカチェックでcomが妥当とのことであるが, この文脈に合致せず.



# 助動詞＋前置詞のまとめXVII

- 起動相:
- 助動詞:**largar**: V. (2006):18. aux.aspect.FAM.(registro de língua familiar) Valor pontual inceptivo, indicando começo, início. *Largar a correr.*
- F. F.(1940-2008)&A.(1975-2010):記述なし.
- 白(1995-2005):◆~se①[+a+不定詞]...し始める:*Largar-se a correr.* 走り出す. 大武(1937)&小(2015):記述なし.
- 参考:**largar de fumar./\*largar de partir(largar do porto)**:前置詞de:起点・終点
- 助動詞:**meter-se**: V. (2006):18. aux.aspect.Valor pontual inceptivo, indicando começo, POR-SE. *Vendo-se perdido, meteu-se a correr e a gritar. Meter-se a trabalhar.*
- 参考:F. F.(1940-2008):*Pronominal—Aventurar-se espontâneamente (a fazer alguma coisa) na incerteza de sair-se bem:Vacilou completamente, METENDO-se a escrever sobre fatos d’armas.*A.(1975-2010):P.23. *Aventurar-se (a fazer algo) sem certeza de sair-se bem.* 例文なし.
- 白(1995-2005) &小(2015):記述なし. 大武(1937):\_\_se,v.pr.始める, 着手する:例文なし.

# 助動詞＋前置詞のまとめXVIII

- 起動相:
- 助動詞： **passar**:48.aux.aspect. Valor aspectual pontual incoativo, indicando passagem de um estado de coisas a outro. *Agora, passas a ser tu a cozinheira. É assim, passo a explicar.*
- **F. F.(1940-2008)**:—記述なし. **A.(1975-2010)**:記述なし.
- 小(2015)：自⑨ ((passar a＋不定詞)) ...するようになる  
▶ *Passou a estudar latim. /Passou a vir aqui com maior frequência.*
- 白(1995-2005)：自⑥ [+a以前と異なる態度に]なる;...し始める,...の動作に移る：例文なし.
- 大武(1937): *v.i.*(aを加用して又はparaを加用して)の方へ移る. 例文なし.

# 助動詞＋前置詞のまとめXIX

- 起動相:
- 助動詞: **pegar**: V. (2006):aux.aspect.として記述なし?
- F. F.(1940-2008):Relativo:Começar:*E pegou a não comer e, a emagrecer. Pegavam logo de estar tristes e a sentir saudades.*
- A.(1975-2010):T.i.28.Começar,principiar,entrar:*Levantou-se e pegou a vestir a roupa.*
- 小(2015):自 ⑦((pegar a + 不定詞))...し始める▶*De manhã pegou a chover forte.*朝方雨が強く降り始めた。
- 白(1995-2005):◇自 ③[+a+不定詞]...し始める:*Pegou a chover.*
- 参考:大武(1937):再帰動詞:持續する:*Chuva pega-se.*雨が降り続く。

# 助動詞＋前置詞のまとめXX

- 起動相:
- 助動詞: **pôr-se**:25.aux.aspect. Valor aspectual pontual inceptivo, indicando começo de acção ou processo, **DESATAR**. *Pus-me a conversar e atrasei-me. Quando alguém chega, o cão põe-se a ladrar.*
- F. F.(1940-2008):再帰動詞—Seguido da preposição *a* e um infinito, significa começar, entreter-se, ocupar-se: *Pôr-se a rir, a escrever. Fiquei sem saber de mim, e pus-me a andar.*
- A.(1975-2010):再帰動詞60.Dar começo(a uma acção), começar, principiar: *Pôs-se a trabalhar. Pôs-se a rir.*
- 小(2015), 白(1995-2005):再帰動詞: *pôr-se a* +不定詞: ~し始める.

# 助動詞＋前置詞のまとめXXI

- 起動相:
- 助動詞: *principiar*:5.aux.aspect. Valor aspectual pontual inceptivo, indicando princípio de acção ou processo. *A orquestra principiou a tocar.*
- 6. aux.aspect. Valor aspectual pontual inceptivo, indicando prioridade numa sequência. *Principiei por agradecer o convite.*
- F. F.(1940-2008):v.t:*PRINCIPIOU a contar-me uma história que durou cinco horas. O trato mercantil PRINCIPIOU de rasgar mais largo vôo. Relativo:PRINCIPIA o padre por sustentar que era pouco exato o conceito.*
- 小(2015), 白(1995-2005):前置詞:a,de,porの記述なし.
- 起動相助動詞＋a,de,por＋不定詞:前置詞による意味差別化



# 再掲:助動詞+前置詞のまとめXIII

- 続:起動相:助動詞:começar:
- 大武(1937):v.t.始める(aを加用す但し助動詞に用ひられ他の不定詞の動詞に先立って置かれた時はde又はporを加用す):例文なし.
- F. F.(1940-2008):v.t:*A dor COMEÇAVA a causar-me uma espécie de prazer. COMEÇARAM de subir pela rua do Carmo. Relativo:COMEÇOU racionalmente por averiguar a mecânica da linguagem. Este COMEÇA por onde os outros acabam.*
- 起動相:助動詞:começar + a~: ~を始める, ~になる; principiarも同様.
- começar + de~: (選択的に)~から行う.
- começar + por~: まず~を行う.
- 段階的に意味の漂白化(Enfraquecimento semântico)が進む.

•

# 助動詞＋前置詞のまとめXXIV

- 起動相:
- 助動詞: **romper**: 18. aux. aspect. Valor pontual inceptivo, indicando começo de acção ou processo, DESATAR. *Quando se enerva, rompe a insultar toda a gente. A orquestra rompeu a tocar.*
- F. F.(1940-2008): 記述なし.
- 参考: A.(1975-2010): v.i. 19 Começar a manifestar subitamente:
- *Romper em choro, riso. 26 Principiar, começar: Rompeu a serenata. 27 Começar a surgir, nascer, despontar: E a madrugada rompia.*
- 白(1995-2005): ◆ 自 ㊦ 始まる, 見えてくる, 突然現れる: 例文なし. 大武(1937): v.t. 始める, 開始する || v.i. 始まる || 突然に發する, 突然始める. いずれも例文なし. 小(2015): 記述なし.

# 助動詞＋前置詞のまとめXXV

- Acabar de, cessar de, deixar de, parar de, **terminar de** (+ infinitivo) : 終結相:
- 助動詞 : **acabar**: 12.aux.aspect. Valor pontual conclusivo, indicando fim ou mudança. *Acabou de acordar. Acaba de sair.*
- 13. aux.aspect. Valor pontual conclusivo, indicando resultado. *Acabou por comprar um carro.* **Por**+不定詞/+動名詞(林田加筆)
- **F.F.(1940-2008):Relativo**: *O imperador ACABAVA de chegar do Paço. ACABO de saber que ele te quer escrever. Esta força misteriosa há de ACABAR por entrar na igreja. (≡ Esta força misteriosa há de ACABAR entrando na igreja.)*
- 小(2015):他③((acabar + \*現在分詞 = acabar por + 不定詞))最後に...する, ついに...する▶*Acabei cedendo.*私はついに譲歩した。
- 白(1995-2005):◇自③[+ \*現在分詞/+ por + 不定詞]最後に...する: ~*admitir o erro/~admitindo o erro.*結局は過ちを認める。\*現在分詞でなく, 動名詞である。(林田加筆)

## 再掲: 小学館辞書 : 記述まとめ(補足: 3相助動詞)IV

参考: acabar + por + 不定詞/+ジェルンディオ(動名詞)≠現在分詞(動(詞的)形容詞: -nte)

EN: And as my friend said, nothing exciting or remarkable would ever happen to either of them, though they might quite likely travel half over the world.

**PB:** Como dissera meu amigo, nada de excitante ou excepcional jamais aconteceria com nenhuma delas, embora muito possivelmente pudessem **acabar conhecendo** meio mundo. (**acabar por conhecer**); **conhecendo** ≠ \*conhecente

PE: Como dissera o meu amigo, nada de aventuroso ou extraordinário ocorreria a qualquer delas, embora fosse bastante provável que viajassem por metade do mundo.

ES: Como mi amigo había dicho, nada excitante o extraordinario habría de ocurrirle nunca a ninguna de las dos por mucho que viajaran alrededor de medio mundo. **acabaron conociendo medio mundo** ⇔ **acabaron por conocer medio mundo**

Google: EN to PB: E, como disse meu amigo, nada de emocionante ou notável jamais aconteceria a nenhuma delas, embora provavelmente viajassem meio mundo.

Gg: EN to JP: そして、私の友人が言ったように、彼女らは世界の半分を旅する可能性が非常に高いとしても、彼女らのうち誰にも、刺激的なことや注目に値することは決して起こらないだろう。

# 助動詞＋前置詞のまとめXXVI

- 続・終結相:
- 助動詞: **cessar**: 3.aux.aspect. Indicando paragem definitiva ou temporária. **DEIXAR DE**. Cessar de existir. *Ele não cessa de falar e dizer piadas.*
- F. F.(1940-2008):Relativo:—Parar, deixar, desistir : *Não CESSOU de chorar. Não CESSANDO de dar graças a Deus.*
- 小(2015), 白(1995-2005)ともに上記を自動詞として記述.
- 助動詞: **deixar**: 25.aux.aspect. Valor pontual cessativo, indicando fim ou mudança. *Deixou de cantar.*
- F. F.(1940-2008):Relativo:—Cessar, desistir, abster-se : *Deixou de ser português. Deixar de estudar, de ler*



# 助動詞＋前置詞のまとめXXVII

- 続々・終結相:
- 助動詞: **parar**: 11.aux.aspect. Valor pontual cessativo, indicando paragem definitiva ou temporária, **DEIXAR DE**. *O cão durante toda a tarde não parou de ladrar. Não posso parar de pensar.*
- F.F.(1940-2008):Relativo: — **Cessar**: *PAROU de chover.*
- 助動詞: **terminar**: 8.aux.aspect. Valor pontual conclusivo, indicando fim, termo, **ACABAR**. *Terminou por desistir. Termino enviando cumprimentos a todos. Por＋不定詞/＋動名詞(林田加筆)*
- F.F.(1940-2008):Relativo: *A esperança de que a festa TERMINASSE, segundo o costume, por completa embriaguez.*
- 小(2015): 自 ④ ((terminar + \*現在分詞))... するはめになる▶ *Ela terminou fazendo as malas na última hora. 彼女はぎりぎりになって荷造りをするはめになった. 文学的意識. +por＋不定詞の記述なし.*
- 白(1995-2005): ◇ 自 ③ [+por＋不定詞, +\*現在分詞] 結局... する : ~por desistir(desistindo) 結局あきらめる. \*現在分詞でなく, 動名詞である(林田加筆)

# 助動詞＋前置詞のまとめXXVIII

- 補・終結相:
- 助動詞: **chegar**: 21.aux.aspect. Valor pontual causativo, indicando resultado de ação ou processo. *Chegaste a falar-lhe no assunto? Tem roupa que não chega a vestir.*
- F.F.(1940-2008):Relativo: — **Chegar a, -conseguir:**”*Se chego a ver-m livre desse trabalho*”
- A.(1975-2010):記述なし
- 小(2015):自 ⑥((**chegar a**＋不定詞))...するに至る, ...できる▶*O time chegou a marcar o gol, mas perdeu no final.*
- 白(1995-2005):◇自 ⑤[＋**a**＋不定詞] ...するに至る;...することができるようになる: *Você chegou a convencê-lo ?*

# 助動詞＋前置詞のまとめXXIX

- 必ずしも相助動詞にならない場合(意味の漂白がない):
- 動詞: **desistir**: V. (2006):aux.aspect.として記述なく, 間接他動詞として: ~ *de procurar a verdade, ~ de lutar por um ideal.*
- F. F.(1940-2008):Relativo:Abster-se;fazer renúncia;não prosseguir no intento:*Eu desisto de o enviar à Índia. Já da guerra desistindo.*
- A.(1975-2010):T.i.1. não prosseguir (num intento);renunciar:*Sentindo a inutilidade de meu esforço, desisti de lutar.*
- 小(2015):自 ③((desistir de＋不定詞))...することを諦める, 断念する  
▶*Desistir de fumar./Não desistimos de lutar.*
- 白(1995-2005):自 ①[＋deを]断念(放棄)する: ~*de fumar.*
- ~*de uma herança.*
- 大武(1937):v.i.(deを加用す)拗棄する, 断念する, 止める, 思ひ止まる  
|| 棄権する, 見捨てる, 拒絶する. 例文なし.

# 助動詞(法・時制)＋前置詞のまとめXXX

- 助動詞 : **ter** : 35.aux.temp. Com participípio passado forma os tempos compostos no passado. *Eu já tinha falado com ele. Se soubesse que vinhas, teria comprado bilhetes. Espero que tenham gostado do passeio.*(過去完了)
- F. F.(1940-2008):Transitivo—Seguido de um participípio passivo, forma os chamados *tempos compostos*: *Se êles TIVERAM DITO que por não levarem dinheiro lhes TINHAM FALTADO muitas coisas necessárias, então se seguia que o Senhor lho concedesse. Os teus ouvidos podem TER-te ENGANADO.*
- 小(2015):他⑮((ter＋過去分詞))複合時制を作る。(注:過去分詞は性数変化しない)▶*Quando cheguei ao aeroporto, o avião já tinha partido.*
- 白(1995-2005):◆助[＋過去分詞]②①以外の複合形は, 名称とおり完了を表す. この場合にはterの代わりにhaverも使えるが, 前者の方がより口語的である:*Ele me perguntou se já tinha estado nos Estados Unidos da América.*[直説法過去完了]/*Ela nos contou o acidente como se o tivesse visto.*[接続法過去完了]

## 助動詞(法・時制)＋前置詞のまとめXXXI

- 36.aux.aspect. Valor durativo cursivo ou iterativo, indicando estado de coisas em curso ou que se repete.*Ele tem estado doente. Tens saído muito ?*(現在包括相)
- 小(2015):他⑮((ter＋過去分詞))複合時制を作る。  
(注:過去分詞は性数変化しない) ▶*Como têm passado ?*
- 白(1995-2005):◆助[＋過去分詞]①[直説法現在完了. Ter直説法現在形＋過去分詞]過去のある時から現在まで反復される動作, 持続する状態を表す:*Tenho escrito bastantes poemas.*



## 助動詞(法・時制)＋前置詞のまとめXXXII

- 37.t.d. Com particípio passado entra na formação de uma construção de valor passado. *Já tenho a cama feita e a roupa lavada. O país tinha a sua independência ameaçada (pela crise).*
- 小(2015): 他 ⑭ ((ter + 目的語 + 過去分詞))...を...してある, ...を...の状態にする▶*Já tenho a roupa lavada.*

# 助動詞(法・時制)＋前置詞のまとめXXXIII

- 助動詞：ter : 38.aux.mod.Indica intenção,desejo, obrigatoriedade, **DEVER**. *Amanhã tenho de lhe telefonar.Tens de estudar mais! A lei tem de ser cumprida.*(法:意図, 要望, 義務)
- F. F.(1940-2008):TER A—o mesmo que *ter que*:Tenho obrigações A cumprir. Só TEM A lucrar com visitas tão honrosas. — Os usos TENHO A fazer、TENHO QUE fazer estão consagrados;é mais idiomático dizer:*tenho que sair, tenho que andar, etc.*, em vez de *tenho a sair, Entretanto — tenho de sair e de andar — são expressões diversas e necessárias.*
- A.(1975-2010):50.Seguido da prep.*de*,indica necessidade, interesse, obrigação ou dever:*Tenho de ir a São Paulo; Por que tem você de sair?*
- 小(2015):熟語:ter de＋不定詞①...しなければならぬ▶*Tenho de ir.*
- Ter que＋不定詞②...しなければならぬ▶*Tenho que ir./Hoje não temos que fazer esse trabalho.*
- 白(1995-2005):◆自②[＋que・de＋不定詞]...しなければならぬ, ...する必要がある:*Tenho que ir ao Brasil./Por que tem você de sair?*

# 助動詞(法・時制)＋前置詞のまとめXXXIV

- 助動詞:haver : 11.aux.temp.Como participípio passado, indica tempo pretérito, TER. *Havíamos terminado o trabalho. Ele havia estado doente.*(過去完了)
- F. F.(1940-2008):Auxiliar—Forma os tempos compostos junto ao participípio passado dos outros verbos(para as linguagens do pretérito):*Do licor que Lieu PLANTADO HAVIA, HAVIAM FUGIDO da cidade os medrosos.*
- A.(1975-2010):15.Como auxiliar, junto ao participípio, forma os tempos compostos para o pretérito:*Havia começado o inverno.*
- 小(2015):他④((haver＋過去分詞))...してしまった(完了時制)▶*Ele já havia partido quando eu cheguei.* (注:直説法現在完了を除いて, terの代わりにhaverを用いて完了時制を作ることができる).
- 白(1995-2005):◆助①[＋過去分詞. 完了形を作る]*O navio havia partido quando ele chegou.*

# 助動詞(法・時制)＋前置詞のまとめXXXV

- 12.aux.mod.No tempo futuro e seguido da preposição”de” e de infinitivo, indica desejo, intenção:*Hei-de passar por aí. Havemos de ganhar. Não hei-de ser nada de cuidado ! Tarde ou cedo, há-de pagar o que me fez.*(未来, 法:要望, 意図)
- F. F.(1940-2008):Auxiliar—Com o infinitivo presente precedido da preposição *de*(para as linguagens do futuro) :*Pelos ilustres feitos que esta gente HÁ de FAZER nas partes do Oriente.HEI de me VINGAR de todos.*
- A.(1975-2010):16.Como auxiliar, junto do infinitivo e precedido da preposição *de*, forma os tempos compostos do futuro: *Hás de perceber que o rapaz tem bons princípios.*
- 小(2015):他⑥《haver de＋不定詞》...するつもりだ, ...だろう▶*Hei de vencer./Que hei de fazer?/Você há de se arrepender.*
- 白(1995-2005):◆助②[＋de＋不定詞.[意志]未来・必要・必然を表わす. ポルトガルではhaverとdeの間にハイフンを入れる]*Hei de falar com ela./O avião há de chegar no horário.*

# 助動詞(法・時制)＋前置詞のまとめXXXVI

- 助動詞:**haver** 13.aux.mod. No tempo passado, e seguido da preposição “*de*” e de infinitivo, indica probabilidade, dever ou dúvida:*Havíam de ser onze horas, ou mais. Por que motivo havia de estar zangado ?* (過去, 法:蓋然性, 義務, 疑問)
- 法助動詞:**dever** : 6.aux.mod.Indica obrigatoriedade. *Os filhos devem obedecer aos pais. Devemos fazer uma alimentação equilibrada. Devemos pensar antes de responder.*( 法 : 義務 ) 加えて, 5. 法・蓋然性 (probabilidade)[ + de:F.F.], 7.法・必要性(necessidade)の記述もある. F. F.(1940-2008), A.(1975-2010), 小(2015), 白(1995-2005)いずれも他動詞として記述し, 小(2015)のみ, 下位範疇で助動詞的:《dever＋不定詞》と記述.



## 助動詞＋前置詞のまとめXXXVII

- ① 助動詞：ir：35.aux.temp. Indica futuro relativamente a um momento presente, ou accao posterior a outra no passado. *Vou comprar casa. Amanhã vai chover. Disse aos pais que ía visitar um amigo.Não pensei que ele fosse contar-lhe tudo.*(現在・過去未来)
- F. F.(1940-2008):Auxiliar—(Seguido de um verbo no infinito, exprime linguagem do futuro)—Pôr-se em movimento para:*O capitão...tempo concertado e ventos tinha para ir buscar o Indo desejado.*

# 助動詞＋前置詞のまとめXXXVIII

- ② 助動詞:ir:
- A.(1975-2010):36. Seguido de um verbo no infinitivo,
- exprime tempo futuro:*O conferencista vai falar sobre Machado Assis.*
- 小(2015):自 ②((irの現在形＋不定詞))(近未来)...するだろう, ...するつもりだ▶*Eu vou fazer o meu melhor./Hoje eu não vou fazer nada.*
- 白(1995-2005):自 ⑩[＋不定詞] 2)[直接法現在・不完全過去で未来・過去未来(特に近接未来)の働き] *Vai chover amanhã. Ela ia sair de casa quando o telefone tocou.*
- 大武(1937):v.i. 往く, 赴く, 行くⅡ(中略)Ⅱ(助動詞として用ひらるる時)将に...せんとする. 例文なし.

## 助動詞＋前置詞のまとめXXXIX

- ③ 助動詞:ir:
- 36. aux.aspect. Valor pontual inceptivo, indicando processo ou acção iminente, relativamente a um momento presente ou passado. *O filme vai começar. Eu ía a falar, mas ele não me deixou.*(起動相)
- F. F.(1940-2008):Auxiliar — Às vêzes costuma-se introduzir a preposição *a* entre o verbo IR e o infinito: *Ia a sair, quando lhe lembrou a morte e pediu ao Florindo que lhe deixasse escrever duas linhas. Ahmed ia a falar.*

## 助動詞＋前置詞のまとめXL

- ④ 助動詞: *ir*:
- A.(1975-2010):38. Seguido de um verbo no infinitivo,significa 'estar prestes a ','estar em vésperas de':*Vai receber um prêmio por seu último romance.*
- 小(2015): 自 ① 19((*ir a*＋不定詞))...しようとしている▶*Apanhei-o quando ele ia a sair.*
- 白(1995-2005): 記述なし.
- 大武(1937): 記述なし.

# 助動詞＋前置詞のまとめXLI

- ⑤助動詞 : *ir* 37. aux. aspect. Valor durativo cursivo, indicando progressão. *As pessoas vão chegando a casa. Os dias vão passando. Nós cá vamos indo !*(漸次進行相)
- F. F.(1940-2008):Auxiliar — Junto ao particípio presente, exprime **continuidade**(持続相) da ação ou do estado significado pelo verbo a que se liga, ou a realização de uma ação continuada:*Como eu te ia DIZENDO. Inda vão DESCENDO.* — ou exprime a idéia de **progressão gradual**(漸次進行相), indicando que a ação do verbo se realiza a pouco e pouco:*Os vossos mores coisas atentando, novos mundos ao mundo IRÃO MOSTRANDO.*



## 助動詞＋前置詞のまとめXLII

- ⑥ 助動詞:ir:
- Outras vezes exprime, antes, simples idéia de **sucessão**(**継続相**): *Vão os anos DESCENDO e já do estio há pouco que passar até o outono.* — Pode indicar, ainda, que a ação ou o estado do verbo estiveram **quase a realizar-se**(**完了直前相**): *IA MORRENDO.*(Nesta acepção só se emprega o verbo IR no passado imperfeito do indicativo.)
- 小(2015): 自 ③((ir＋現在分詞))①だんだん...していく, 徐々に...する▶*A noite vai chegando.*②《irの半過去形＋現在分詞》もう少しで...するところだった▶*Ia morrendo.*
- 白(1995-2005): 自 ⑱[＋現在分詞/＋a＋不定詞] 1)次第に...していく:*A compnhia vai fazendo grande progresso.*2)[直接法不完全過去で]もう少しで...するところだった:*Ia me esquecendo do compromisso.*

## 助動詞＋前置詞のまとめ XLIII

- ⑦ 助動詞: *ir*:
  - b) *Ir* com o **gerúndio** denota o curso, o desenvolvimento gradual de uma ação ou de um estado ininterruptos, e às vezes também uma sucessão de atos parciais componentes de uma ação integral: "*A tarde IA MORRENDO.*" (Alencar, *O Guarani*, 1º, 69).  
“...*quem duvida que o tempo VAI DEVORANDO os mesmos dias e anos que VAI FORMANDO.*” (Bern., *N. Flor.*, 1º, 291) “*Quando (os mingas, pássaros da África) querem beber, VÃO VOANDO mui rasteiros por cima de água e VÃO BEBENDO dos rios e das lagoas.*” (Fr. João dos Santos, *Etiópia-Oriental*, 1º, p, 25).
  - Esta perífrase significa ainda uma ação logo ao iniciar-se: "*Quando ela IA SAINDO (quando FOI SAINDO), deu de rosto com o irmão.*" in Brandão (1963), p.536.

# 助動詞＋前置詞のまとめXLIV

- ⑧ 助動詞:ir:
- 38.aux.mod. Indica ordem, pedido, convite ou exortação. *Vai estudar ! Por favor, vá avisá-lo ! Vamos dançar ? Vamos ter calma !* (法:命令, 依頼, 招待・勧誘, 勧告)
- A.(1975-2010):39.Seguido de um verbo no infinitivo,
- significa 'dispor-se ou preparar-se para',
- 'tencionar,propor-se' : *Vamos vestir-nos para sair.*
- 小(2015):自 ②((Vamos＋不定詞))①...しましうか, しましう  
▶*Vamos comer.*④《irの現在形＋不定詞》(命令を表わして)...  
しなさい▶*Você vai me obedecer !*
- 白(1995-2005):自 ⑩[＋不定詞] 3)[1人称複数形で] ...し  
う: *Vamos comer.* 4)[否定の命令・依頼]*Não vá chegar  
atrasado.*

# 助動詞＋前置詞のまとめXLV

- ① 助動詞: *vir*:
- F. F.(1940-2008): *Auxiliar — Junto ao particípio presente, serve de verbo auxiliar.*”*O sol VINHA NASCENDO.*“(O sol nascendo/nascente; \**O sol VINHA NASCENTE*: Brandão, *Sintaxe*, 219) Thomaz da Silva Brandão, *Syntaxe e construção da Língua Portuguesa*, 1888. cf. *O sol se pondo/poente; o pôr do sol*
- Celso Cunha (1980): *Vir emprega-se com o GERÚNDIO do verbo principal, para indicar que a ação se desenvolve gradualmente(compare-se*
- *a construção similar com ir): Vinha rompendo a madrugada. Venho tratando desse assunto. Vinha amanhecendo. Veio vindo a ventania. \*Vinha amanhecendo.* (O dia amanhecendo/amanhecendo)
- 上記: ジェルンディオ ③ 形容詞的機能 = 動(詞的)形容詞(現在分詞)
- V. (2006): *aux.aspect.*として記述なく, そもそも無記述.
- 小(2015): 自 ⑫ ((助動詞的に)) (*vir* + 現在分詞) ずっと...している, だんだん...してくる ▶ *Venho dizendo isso desde o começo.*
- 白(1995-2005): 自 ③ [+現在分詞] 1)...しながら来る: ~cantando. 2)次第に...してくる: ~aparecendo.

# 助動詞＋前置詞のまとめXLVI

- ② 助動詞: *vir*: o gerúndio ≠ o particípio presente
- c) **Vir** unido ao **gerúndio** mostra em geral ação ou estado já iniciados, em marcha contínua para um termo, ou então uma seqüência de atos constitutivos de uma atividade única. A significação das perífrases formadas com **ir** e **vir** e o gerúndio tem a mesma diferença semântica que êsses dois verbos: “*VEM-se CHEGANDO o tempo da minha morte*” (Vieira, Serm., Iº, 80). “... e assim, de geração em geração, **VIERAM êstes duques TOMANDO sempre aquêle apelido.**” (F. Moraes, Palmeirim, 1º, p. 142). “...vendo Sancho que **VINHA AMANHECENDO(\*VINHA AMANHECENTE)**, soltou com a maior sutileza as mãos a Rocinante.” (Castilho, D. Quixote, Iº, 182) . “*A flor formosa e bela VEM BROTANDO.*” (G. Dias, Poesias, p. 188).
- Com o matiz semântico que lhe é próprio, o verbo *vir* com o **gerúndio** serve também de expressar, como o verbo *ir* em caso semelhante, a ação no seu primeiro início: “*VÍNHAMOS SAINDO, quando nos entregaram a tua carta*” . “*Quando êle FOR ENTRANDO em casa, dê-lhe isto*”. in Brandão (1963), p.536-37.



# 再掲十：助動詞に関わる前置詞のまとめⅧ：

## \*\*Gerúndio

- **Particípio presente** que tem o valor de **cláusulas adjetivas**: “*Na portada se viam dous leões dourados, sustentando(—que sustentavam;≠sustentante) as ruelas dos Castros*” (Freire, D. João de Castro(1500-48), 3º,40, 222). “*O jesuíta...estava em companhia de Francisco de Sousa, quando lhe foi entregue o despacho contendo (= que continha;≠\*continente(abl.do lat.continens) a sua nomeação*” (João Francisco Lisboa, *Vida de Vieira*(1608-97), 157).
- 参考:上記ジェルンディオ(動名詞：動詞的名詞)：①名詞的機能＝不定詞&③形容詞的機能≠動(詞的)形容詞(現在分詞)
- 参考：Folhinha, s. f. pequena folha impressa, **contendo** o calendario.他 8 例.
- (Bastos (J. T. da Silva) : *Dicionário da Língua Portuguesa*, 2ª ed., Parceria Antônio Maria Pereira, Lisboa, 1928.)
- Folhinha, s.f. Folha impressa **que contém** o calendário. : A.(1975-2010)
- Vol-au-vent [vol-ó-van],s.m.peça de pastelaria, **contendo** peixe ou carne, de bordos folhados. (19世紀初頭仏語起源：ヴォロヴァン：鶏・魚のクリーム煮などを詰めたパイ生地蓋付きのカレーム考案宮廷料理)：[アントナン・カレーム - Wikipedia](#)

## 再掲:助動詞に関わる前置詞のまとめ区: \*\*Gerúndio

- O **particípio presente** foi pouco a pouco **suplantado** pelo ablativo do gerúndio latino.in Brandão (1963),p.479(Capítulo. XXXV O GERÚNDIO).
- A forma verbal em **-ndo representa** etymologicamente o ablativo do gerundio latino; herdou, porém, em parte, os empregos syntacticos não só do ablat. do gerundio, senão também, e **principalmente, do participio presente latino.** in Augusto Epiphanio da Silva Dias, *Syntaxe-Historica-Portuguesa*, 1918, p.247.
- A forma verbal em **-nte**, representante do participio do presente latino, empregava-se, no portugues archaico, como **participio do presente** (ou gerúndio: 林田加筆) — até com complemento directo—, na qualidade de attributo:*temente o dia de minha morte...fiz meu testamento;temente a Deus; ao sol levante,ou ao sol poente;rompente o alvor (Livro de Linhagens, 259,13-14世紀)* in *op.cit.*, p.252-253.

## 再掲:助動詞に関わる前置詞のまとめⅩ: \*\*Gerúndio

- O auxiliar *estar* acompanhado do **participio do presente** de um verbo ou do presente infinitivo precedido da preposição *a*, v.g. *Estava estudando*, ou *a estudar*, exprime de um modo preciso que uma a acção está começada mas não acabada. 参考: [3321\\_por\\_Dias\\_01\\_1881.pdf](#) (ens-lyon.fr)
- O auxiliar *ir* e o auxiliar *vir* acompanhados do **participio do presente** de um verbo, v.g. *A vermelhidão foi avultando*; *vinha amanhecendo*, exprimem a realização gradual de uma acção. In Augusto Epiphonio da Silva Dias, *Grammatica practica da lingua portugueza*, 1870 (considerada a primeira gramática científica do português), p.56 (**3.CONJUGAÇÃO PERIPHRASTICA**)
- participio do presente** (ou gerúndio)  $\cong$  **participio presente latino**
- Cf.A conjugação periphrastica, composta do verbo *estar* com o **participio presente**, ou com o infinitivo presente precedido de *a*. (in Augusto Epiphonio da Silva Dias, *Syntaxe-Historica-Portuguesa*, 1918, p.185-86.)

# 助動詞＋前置詞のまとめ XLVII

- ③ 助動詞: *vir*:
- F. F.(1940-2008): *VIR A SER* — *tornar-se*: ”*VEIO A SER* um grande médico”; *Significar, querer dizer*: ”Eldorado é o vocábulo espanhol, que, vertido para o vernáculo, *VEM A SER* ‘o dourado’.”; *VIR A SAIR*, — *importar, custar; valer*.
- Celso Cunha (1980): *Vir* emprega-se com o **INFINITIVO** antecedido da preposição *a*, para expressar o resultado final da ação: *Vim a saber dessas coisas muito tarde. Veio a dar com os burros nágua.*
- A.(1975-2010) & V. (2006): *aux.aspect.*として記述なく, 両者無記述.
- 小(2015): 記述なし.
- 白(1995-2005): 自④ [+a + 不定詞] ...するに至る, ...するようになる: *Ele veio a ser meu amigo.*
- 大武(1937): *v.i., vir a ser*, に成る, に爲る || *vir a saber-se*. 流布される, 評判になる. 例文なし



ご清聴ありがとうございました

[https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/4701/cdob\\_05\\_021.pdf](https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/4701/cdob_05_021.pdf)

# Convite



A watercolor painting depicting two riders on horseback in a landscape. The style is expressive and somewhat abstract, with visible brushstrokes and a palette of earthy tones like browns, greens, and yellows. The riders are silhouetted against a lighter background, and the horses are in motion. The overall mood is serene and evocative.

A ACLUS - Associação de Cultura Lusófona (Faculdade de Letras da Universidade de Lisboa) convida-o para a inauguração da:

## Exposição

"Homem, Cosmos e Mitos"  
de Rouslan Botiev

na biblioteca da Faculdade.

Dia 10 de Março às 17h 30m

Amazónia / Amazónias

Conferência Temática, org. ACLUS

Sede: Faculdade de Letras - Cidade Universitária - Lisboa

E-mail: [aclus@fl.ul.pt](mailto:aclus@fl.ul.pt)

Apartado 52118 - Lisboa



(編集後記)

昨年度まで『ISO コミュニティ通訳認証実績報告書』として OUKA 掲載していたものを新規に林田雅至監修・佐藤晶子編『教育メソッド・教育コンテンツ研究報告書』として刊行を開始することになった。認証のための「適正テスト」はその出題内容の改善が昨年度一気に本格化し、協力いただいた研究者スタッフ一丸となって試行版も作成された。今後は、そのさらなる推敲と試行実施において実績を積み重ねていくことになる。なお、本研究は、京都外国語大学国際言語平和研究所の教育メソッド・教育コンテンツ共同研究助成により実現したものでここに改めて謝辞を示す。

2023 年度

教育メソッド・教育コンテンツ研究報告書

---

2024 年 3 月 31 日 発行

監 修 林田雅至  
(大阪大学 CO デザインセンター名誉教授)

編 集 佐藤晶子  
(京都外国語大学外国語学部英米語学科教授)

出版・発行所 大阪大学 CO デザインセンター  
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-16  
電話(代表) 06-6850-6111